

津山中央病院医学雑誌

第22巻 第1号 平成20年

The Medical Journal of TSUYAMA Central Hospital

Vol. 22 No. 1 2008

目次

巻頭言

医療人として矜持をたもてる環境を……………徳田 直彦… 1

原著

当院における下部消化管穿孔の検討……………河合 毅他… 3
岡山県北部における子どものこころとからだの発達を見守る地域の連携…片山 威他… 13
当院における脳梗塞超急性期症例に対するrt-PA静注療法……………大田 茂他… 21
矯正ゴムを使った改良型止血用シーネの使用経験……………椋代 達典他… 27
SPIO造影拡散強調画像によるHCC診断の有用性の検討；B値、呼吸停止の有無による比較……………黒川 浩典他… 33
持参薬に関するアクシデントの検討－RCA（根本原因分析法）を用いて－…杉山 浩江他… 41
当院における急性虫垂炎の超音波像と病理所見の比較検討……………三好 一外他… 49
寒冷昇圧試験を用いた脈波伝達速度－血圧（PWV-BP）直線関係の傾きより求めた動脈伸展性（Isobaric Elasticity）検査法の再現性……………小山 周子他… 55
褥瘡予防のための体位の検討～BMIとポジショニングによる体圧変化から～…山崎 幸恵他… 63
岡山県北部域における褥瘡処置に関するアンケート報告……………高林 己加他… 73

症例

アカラシア用食道バルーンカテーテルにて摘出しえた長さ25cmの直腸異物の一例……………赤穂 宗一郎他… 79
カンデサルタンが原因と考えられた薬剤性肺障害の一例……………住友 佳代他… 85
著明な低体温と乳酸アシドーシスを合併した高齢糖尿病の1例……………木下 智香子他… 89
直腸内異物により穿孔性腹膜炎を来した1例……………大森 敏規他… 95
5月に発症した低力価寒冷凝集素症の一例……………松下 博亮他… 101
新生児同種免疫性血小板減少症（NAIT）の1同胞例……………山本 倫子他… 105
水痘回復期に筋炎と肝障害を呈し、劇症型A群溶連菌感染症の前段階となった一乳児例……………北本 晃一他… 111
Henoch-Schönlein紫斑病に合併した急性陰囊症の1例……………藤田 治他… 119
卵巣嚢腫茎捻転との鑑別が困難であった、腹腔鏡にて診断、治療し得たメッケル憩室茎捻転の一症例……………楠本 知行他… 123
FDG-PETが確定診断の決め手になった胆嚢癌の1例……………藤島 護他… 129
Kaposi肉腫を初発症状としたAIDSの1例……………大西 明美他… 135

看護研究

口腔内乾燥に効果的なケア回数の検証～口腔水分計を使用して～……………田中美香他… 139
心臓血管外科患者に対するICU術前オリエンテーションの検討……………前田 洋子他… 143
－ICU入室パンフレットを作成して－……………棟久 弓美子… 147
手術室における実習内容の検討－患者体験学習を取り入れて－……………岡部 泉… 151
現在の学生の看護技術到達度と今後の課題……………

雑件

2007年 CPC記録……………三宅 孝佳他… 159
学会及び教育活動……………… 165
編集後記……………宮本 亨… 188

津山中病医誌

M.J. TSUYAMA
C.H.

平成20年9月15日発行

〔財〕津山慈風会

津山中央病院

〒708-0841 岡山県津山市川崎1756 TEL (0868) 21-8111

FAX (0868) 21-8205

医療人として矜持をたもてる環境を

徳田直彦

国は最近になって、『医師は充足しているとは云えない』とトータルとしての医師不足を認め、増員への方針転換をしました。少しだけでも光明が見出せたような気がします。思えば『医療費亡国論』『財政再建』や『新自由主義』の名のもとに、この国の医療費や医師数は、先進国で最低のレベルで抑制され続け、その間の医療問題は偏に我々病院現場にその責を負わせるという、厳しい状況がつづいてきました。

かつて、英国のサッチャー首相が医療費の削減を行い、英国の医療は第三世界並みに荒廃し、ために改善を目指したブレア首相の公約が『入院の待ち時間を26週間以内に、救急患者の診察は4時間以内に』であったことは、何如にサッチャー政権下の医療荒廃が甚だしかったかを物語っています。そのような他山の石とすべき教訓がありながら同じ過ちを指向しているこの国の医療行政は…表現する言葉ありません。救急医療、産科、小児科、地方医療の崩壊など、現在の医療問題の根幹にあるのは絶対的な医療人養成不足と医療費抑制策に起因するのであり、喧伝されているような医師の偏在、新医師臨床研修制度や女性医師の増加は二次的な要因にすぎません。

かの国は医療抑制の愚に気づき、10年で医療費を倍に、医学部定員（5割増員）や重症者の病床数を増加する方針に転じて、日本からみればそれでも後進的な公約を実現し、それなりに評価されているのです。しかるに現在の日本の医療は医師数、対GDP比の医療費ともにその英国以下なのです。勤務医が一番希望するのは、『プロとしての矜持が保て、充実し、かつ人間としての生活ができること』であり、そのためには国策として応援部隊の医療者を増やす以外はありません。矜持を保てるように、職域をこえて待遇改善を医療者が一致して訴え続けるべきです。ほとんどの先進国が医療の専門化、高度化、高齢化に対応すべく医療者の増員を急カーブで養成している世界の現状をみるにつけ、『はじめに増員ありき』に疑問を呈する医療関係者・有識者がいることは私にとっては不思議で、現実の人材不足の解決が喫緊の課題であることを強く認識すべきです。

津山中央病院は来年で移転後10年目をむかえますが、美作地方30万人の急性期医療の基幹病院として地域内での自己完結をめざし、電子化カルテをはじめ、先進医療機器の整備やスタッフの充実に努め、救急医療、癌診療を基本とした急性期診療を発展させてきました。

この地域は高齢化、集中化の進む環境で問題は多々ありますが、私たちは日本の将来を先取りしている病院であるとの認識で、いわば『津山モデル』の患者管理を構築すべく、職員一同努力しています。本雑誌が皆様の診療の一助になれば幸いです。

当院における下部消化管穿孔の検討

津山中央病院外科

河合 毅 藤原拓造 中山晴輝 滝内宏樹 松本朝子 松村年久
野中泰幸 林 同輔 宮島孝直 黒瀬通弘 徳田直彦

要旨

当科で治療した下部消化管穿孔症例の予後に関連する臨床的因子を後方視的に検討した。対象は2000年1月から2007年8月までに開腹手術を行った下部消化管穿孔症例83例（男性51人、女性32人、平均年齢；71.7±11.8才）で、これら対象を生存例と在院死亡例に分けて穿孔部位、病因、発症から手術までの時間、術前リスク評価としてPOSSUM Physiological Score (PS), Operative Severity Score (OSS)、APACHE II scoreを算出し比較検討した。また、死亡例23例（27.7%）においては術後8日以内にICU管理のまま死亡となった早期死亡例8例（術後死亡までの平均期間；3.5日）と晩期死亡例15例（死亡までの期間；24.6日）に分けて検討した。結果は穿孔部位としてはS状結腸42例、直腸19例、横行結腸12例、下行結腸4例、上行結腸・盲腸各3例、病因；憩室21例、特発性20例、癌16例、医原性12例、糞便性6例、その他7例であった。生存例60例と死亡例23例の比較では手術までの期間に差はなく（生存例VS死亡例；平均26.9 VS 27.4時間）、POSSUMのPS（24.0 VS 34.8）、OSS（15.5 VS 18.6）、APACHE II score（10.0 VS 18.0）は死亡例で高値であった。早期、晩期死亡例の比較では早期死亡例では手術までの期間が長く（早期例VS晩期例；32.6 VS 24.6時間）、POSSUMのPS（43.3 VS 25.7）、APACHE II score（21.3 VS 16.3）は早期例で高値であったが、POSSUM OSSは晩期例の方が高かった（15.5 VS 20.2）。また晩期死亡例15例中9例に消化管再穿孔が発生し、5例は呼吸器障害が合併していた。発症より早期に低リスクの状態で手術を行うことが予後改善につながる事は当然であるが、高リスクの状態で手術を行った症例では術後の呼吸器合併症、消化管再穿孔に留意することが重要であると考えられた。

キーワード：下部消化管穿孔、POSSUM score、APACHE II score

岡山県北部における子どものころとからだの発達を 見守る地域の連携

津山中央病院小児科

片山 威 北本晃一 松下博亮 杉本守治 梶 俊策 藤本佳夫

要旨

津山市近隣の小児を診療している医師への聞き取り調査により岡山県北部の精神運動発達障害や心身症などの児の療育施設に関する現状把握が不十分なことが問題であることが分かり、この分野の岡山県北部の施設と人的資源を調査した。医療の分野では、当院にて一般身体疾患診療、心身症診療、言語療法、非常勤医師による脳神経小児科外来があり、希望ヶ丘ホスピタルにて児童精神科疾患の診断や治療・療育、積善病院にて思春期精神医学的な診療が行われている。保健・福祉の立場からは乳幼児期においては市町村が乳幼児健診とことばの相談と経過観察教室で、県が保健所の総合相談で発達相談をうけ、療育が必要な場合は津山市療育センターと、みのり学園に引き継がれている。また就学前から就学後は児童相談所、市立西小学校通級指導教室が主に発達についての相談・指導を行っている。

岡山県北部の療育の問題点として、常勤の小児神経専門医がいないことと、小児を専門とする常勤の理学療法士および作業療法士がいないことが明らかになった。身体面での療育が不十分な現状であり、これらの人材の配置・育成が急務である。

キーワード：発達障害、地域連携、療育

当院における脳梗塞超急性期症例に対する rt-PA 静注療法

津山中央病院脳神経外科

大同 茂 小林和樹 棟田耕二 和仁孝夫

要旨

わが国では発症3時間以内の脳梗塞超急性期症例に対する recombinant tissue plasminogen activator (rt-PA) 静注療法が2005年10月に認可された。我々は当院における rt-PA の使用経験について検討した。

2006年9月より2008年2月の間、8例に対して rt-PA 静注療法を実施した。男性5例、女性3例で、基礎疾患に心房細動を有する患者が6例であった。7例は心原性脳塞栓症であった。rt-PA 静注開始前の NIHSS スコアの中央値は18で、発症から rt-PA 静注開始までの時間は平均157.4分であった。予後良好例は3例(37.5%)で、死亡例は1例(12.5%)であり、NIHSS スコア高値の症例は予後不良の傾向があった。症候性頭蓋内出血は1例(12.5%)に認めた。

さらに症例を積み重ね、よりスムーズに運用できる体制の構築が必要である。また、脳卒中の知識を広く啓蒙することも重要である。

キーワード：脳梗塞、rt-PA、血栓溶解療法

矯正ゴムを使った改良型止血用シーネの使用経験

津山中央病院歯科

椋代達典 竜門幸司 野島鉄人

岡山大学大学院歯薬学総合研究科 歯顎口腔病態外科学分野

岸本晃治 佐々木 朗

岡山大学病院

西山明慶

要旨

キーワード：上顎洞、穿孔、止血、シーネ

SPIO 造影拡散強調画像による HCC 診断の有用性の検討； B 値、呼吸停止の有無による比較

津山中央病院放射線科

黒川浩典 河原道子 藤島 護

津山中央病院放射線技術部

藤田卓史

要旨

SPIO 造影拡散強調画像において B 値、呼吸停止の有無による比較をし、評価検討した。対象は 2006 年 11 月から 2007 年 3 月までに SPIO 造影 MRI を施行した HCC の 30 症例である。比較シーケンスは T2 * long TE、呼吸フリー拡散強調画像 (B 値 1000、400)、呼吸停止下拡散強調画像 (B 値 800、400) である。画質は造影拡散強調画像の中では呼吸フリー B 値 400 > 呼吸フリー B 値 1000 > 呼吸停止 B 値 400 > 呼吸停止 B 値 800 の順であった。肝腫瘍の診断においては呼吸フリー低 B 値 400 が有用であった。しかし嚢胞との鑑別が必要となり、高 B 値や T2 * long TE、T2WI と対比読影する必要がある。また SPIO 造影拡散強調画像はリピオドール集積部の再発の評価に使えるような印象である。

キーワード：肝細胞癌、拡散強調画像、B 値、超常磁性酸化鉄

持参薬に関するアクシデントの検討 － RCA（根本原因分析法）を用いて－

津山中央病院薬剤部

杉山浩江 西崎文祥 春木祐人 近藤祥代

津山中央病院看護部

采女佐加江 矢田佐知香 神坂景子

津山中央病院医療安全管理室

村上典子 河原義文

要旨

入院時の持参薬増加に伴い、その安全管理が全国的にも問題となっている。当院でも持参薬に関するアクシデントが続き、その都度病棟内で防止対策を検討したが、慢性的に発生していた。

今回、我々は持参薬の重複投与というアクシデント事例をもとに、RCA法を用いて多職種による改善策の検討を行い、持参薬に関する業務マニュアルを作成した。その後、マニュアルの運用状況を把握するため、看護師へのアンケート調査、医師の持参薬入力画面への入力率を調査した。その結果、持参薬入力画面の使いづらさ、マニュアル運用の不徹底が明らかになった。

今後の課題は、現在進行中の新システム構築（カルテ等バージョンアップ）に伴う、新しい持参薬システムの構築と、運用の徹底であると考える。

キーワード：持参薬、RCA、根本原因分析法

当院における急性虫垂炎の超音波像と病理所見の比較検討

津山中央病院放射線技術部

三好一外 見尾京子 松田哲典 山本一雄

岡山大学医学部保健学科病態検査学講座

草地省蔵

要旨

背景

超音波検査の虫垂炎像と術後病理所見と血液検査値及びとの比較検討の報告は散見されるものの、充分には明らかにはなっていない。

目的：

急性虫垂炎について超音波像及び病理所見、血液検査値との比較検討。

対象と方法

右下腹部痛を主訴に超音波検査施行後、急性虫垂炎と診断された49例。（男 36例 女 19例 年齢4～25歳 平均 35.1歳）。超音波像を病期分類3群（A群 カタル性・B群 蜂窩織性・C群 壊疽性）に分類。さらに外科的処置適応の有無を考慮して蜂窩織性・壊疽性群とカタル性の2群についても比較検討。

結果

虫垂最大径は3群間で、壊疽性、蜂窩織性、カタル性の順に有意に大きかった。カタル性と手術適応群の2群間でも有意に手術適応群が大きかった。US所見と病理所見の一致は49例中35例（71.4％）で、蜂窩織性を壊疽性と誤る例が11例と多かった。手術非適応群と手術適応群の2群間での比較ではUS所見と病理所見の一致は49例中47例（95.9％）で、一致率・カッパ統計量は0.88と高い結果であった。手術非適応群と適応群の2群間でのROC curveのAUCは0.97で、カットオフ値8mmで感度95％ 特異度100％の有意な値であった。血清CRP、WBC値共に3群間及び2群間共に有意差は得られなかった。

結論：超音波像は急性虫垂炎の病期診断の推定、さらに、外科的治療の適応について有用であると判明した。本結果はこれまでの同様の報告に追補的情報を提供すると考えられた。

キーワード：超音波検査、虫垂炎の病期分類、術後病理所見

寒冷昇圧試験を用いた脈波伝達速度－血圧（PWV-BP） 直線関係の傾きより求めた動脈伸展性（Isobaric Elasticity）検査法の再現性

津山中央病院臨床検査部

小山周子 河本理医 三好佳子 松尾 茜 井上伸一 平田尚子 山田啓輔

津山中央記念病院臨床検査部

北村多美子

津山中央病院循環器科

小松原一正 吉川昌樹 清藤哲司 河野康之 梶谷昌史

岡山大学大学院保健学科研究科検査技術科学分野

草地省蔵

要旨

背景：脈波進展速度（PWV）は、測定時の血圧（BP）下での動脈伸展性を示しているに過ぎない。

目的：生理学的研究は、PWV－BP関係の傾き（回帰係数）が動脈の伸展性の信頼できる指標であることを明らかにしている。今回我々は寒冷昇圧試験を用いたPWV－BP直線関係の傾きより求めた動脈伸展性（Isobaric Elasticity）検査法の再現性について検討した。

対象と方法：健常ボランティア6名（男性3名、女性3名、平均年齢 35 ± 8.45 歳）を対象に2回、異なる日に寒冷昇圧試験（断続的寒冷負荷）を行い、PWVを種々のBP値下において測定した。また、当院循環器科受診の動脈硬化関連疾患症例101名（男性66名、女性35名、平均年齢 59 ± 17.3 歳）において、寒冷昇圧試験を行いPWV－BP直線関係を求めた。

結果：健常6例12回の寒冷昇圧によるPWV－BP関係は直線回帰（ $r = 0.933 \pm 0.04$ ）された。PWV－BP直線回帰の傾き（回帰係数）は対数正規分布を示したので、傾きは対数変換して統計に供した。回帰係数（傾き）対数値の1回目、2回目の差の mean $\pm$ SD は 0.0354 ± 0.0967 であった。1回目2回目の傾きの対数値の相関は、相関係数0.93であった（2回目傾き $= 1.15 \times$ 1回目傾き $- 0.17$ ）。Bland－Altman Plots は傾きの良好な再現性を示した。1回目2回目の差の平均は、101例の傾き（回帰係数）の対数変換値分布の2SD range の約2%であった。

結語：寒冷昇圧試験を用いたPWV－BP直線関係の傾きより求めた動脈伸展性（Isobaric Elasticity）検査法の再現性は臨床上良好であることが示唆され、本方法は動脈伸展性の検査として臨床上有用であると結論された。

キーワード：動脈硬化、生理検査、寒冷負荷

褥瘡予防のための体位の検討 ～BMIとポジショニングによる体圧変化から～

褥瘡対策委員会

リハビリテーション課

山崎幸恵 原田 靖

皮膚科

宮本 亨

看護部

前原多美恵 高橋純子

要旨

急性期病院である当院では、急性発症や手術など全身状態が不安定で褥瘡発生リスクが高い患者が大半である。委員会の取り組みにより褥瘡保有者数は減少したが、新規発生は生じており、予防手段の再検討が必要であった。実態を調査していくと、体位変換の際に、予防に配慮された体位や、良好な体圧分散を考慮したポジショニングが行われていないこと、スタッフの知識不足が判明した。また、従来の病棟用具では褥瘡予防に不十分な形態のものが多く、用具が不足している現状も明らかとなった。より効率的、効果的な褥瘡予防を日々のケアで実施するためには、褥瘡予防に適した用具の充実、そして体位変換の一手段としてポジショニング方法を検討する必要があると思われる。そこで①当院で従来から実施されてきた体位変換方法の体圧分散の実際と安全性の確認と、ポジショニングを行うことの効果②入院時に必ず聴取され身体的特徴を示すBody Mass Index（以下BMI）を指標とし、BMI別に各体位での特徴を調査した。

キーワード：BMI、体圧、ポジショニング

岡山県北地域における褥瘡処置に関するアンケート報告 —地域医療の連携を目指して—

津山中央訪問看護ステーション

高林己加 河本京子

津山中央病院看護部

樫本伊津子 采女佐加江 湯浅貴子

要旨

当院は、岡山県北の基幹病院として、急性期医療を担っており、褥瘡が完全に治癒しない状態で退院、転院を余儀なくされている。

褥瘡対策委員会において、退院転院後の褥瘡の処置、予防の現状を把握するため、津山市近隣一帯における介護保険施設、居宅介護支援事業所、訪問看護、計259事業所に質問紙による郵送調査を実施した。152事業所の回答を得た結果、褥瘡に興味があると149事業所が回答し、関心の高さがうかがえた。107事業所において褥瘡有病者があり、看護師の役割の重要性を再認識した。

勉強会や褥瘡回診の参加については、意欲的な意見が多かった。地域と連携を持つことは、継続した質の高い看護につながる。

褥瘡の発生や悪化させない為に、地域一丸となってどのように取り組んでいくかが今後の課題である。

キーワード：地域連携、褥瘡アンケート調査、退院転院後のケア

アカラシア用食道バルーンカテーテルにて摘出しえた 長さ 25cm の直腸異物の一例

津山中央病院消化器内視鏡センター

赤穂宗一郎 今川 敦 藤木茂篤 太田 茂

森藤由記 友田 健 榊原一郎 西田知弘 三好健司

田中弘教 藤本 剛 平良明彦 柘野浩史

要旨

症例は49歳男性。3日前からダイエット目的にて肛門よりホースを自己挿入し、その後自己抜去が不能となっていた。腹痛、発熱等の症状なく通常通り生活していたものの、3日間ホースが排出されず直腸内に残存したため2007年8月当院救急外来を受診した。

直腸診にて肛門より5cmの部位に硬いホースの断端を触知し、腹部単純レントゲンではS状結腸を伸展するように直腸から右上腹部におよぶ長さ25cm（内径19mm）のホースを確認した。腹部単純CT検査にて遊離ガスがないことを確認し、血液検査にても炎症反応の上昇を認めなかったことから、まず内視鏡的な異物摘出を選択した。下部消化管内視鏡検査を施行し、口側及び肛門側断端部に接する大腸粘膜に明らかな穿孔がないことを確認した。その後、ホースの肛門側断端部を鉗子にて把持し抜去を試みるも、ホースが硬く不可能であった。そこでガイドワイヤーを用いてアカラシア用食道バルーンカテーテル（長さ10cm、直径最大35mm）をホース内に挿入留置し、バルーンを拡張することで内側よりホースを保持し、レントゲン透視下に愛護的に摘出を試みた。術中、出血、穿孔などの大きな偶発症をきたすことなく摘出することに成功した。

硬く大きな直腸異物の場合、確実に把持することは難しく摘出困難である。今回管腔を持つ大きな異物に対しアカラシア用食道バルーンカテーテルを利用することにより安全に摘出され、外科的な処置が回避できた症例を経験したため、若干の文献的な考察をふまえ報告する。

キーワード：直腸異物，アカラシア用食道バルーンカテーテル

カンデサルタンが原因と考えられた薬剤性肺障害の一例

津山中央病院内科

住友佳代 勝田知也 森山道彦

健康づくり財団内科

大森佐恵子

要旨

症例は76歳男性。平成18年10月中旬より労作時の呼吸苦・食欲低下を認め、10月下旬近医を受診。胸部X線写真で右胸水が疑われ当院内科に紹介された。胸部CTで右下葉に浸潤影・網状影・気管支牽引像を認めた。近医で高血圧の治療を受けており、10月初旬からベニジピンからカンデサルタンに新たに内服が変更となっていた。そのため薬剤性肺炎の可能性を考慮し薬剤を中止した。自覚症状・炎症反応ともに徐々に改善したが、陰影が残存したため気管支鏡による検査を行った。気管支肺胞洗浄液中のリンパ球・好酸球増多を認め、経気管支肺生検で好中球・好酸球浸潤、炭粉沈着を伴う胞隔の肥厚、肉芽組織の形成、II型肺胞上皮の軽度増生を認めた。ガリウムシンチグラフィで右肺はほぼびまん性に、左肺は下肺野に集積亢進を認めた。薬剤リンパ球刺激試験（DLST）を施行したところ、カンデサルタンにおいて陽性であったことから、本症例は同薬剤による薬剤性肺障害と考えられた。m-PSL 2mg/kg/dayから使用したところ、陰影が改善傾向を示したため、徐々に減量し最終的には中止した。カンデサルタンによる薬剤性肺炎の報告例は非常に少ないため報告する。

キーワード：カンデサルタン、薬剤性肺障害、薬剤リンパ球刺激試験

著明な低体温と乳酸アシドーシスを合併した 高齢糖尿病の1例

津山中央病院内科

木下智香子 永瀬 亮 藤木茂篤

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

腎・免疫・内分泌代謝内科学

四方賢一

要旨

症例は86歳、女性。35年前より糖尿病にてインスリン治療されていたが、HbA1c10%以上と糖尿病コントロール不良であった。意識障害にて救急搬送され、来院時に動脈血pH6.93、 HCO_3^- 6.0mEq/l、乳酸6.6mmol/lを認め、糖尿病性ケトアシドーシスを疑い、ICU入院となった。ICU入室後、食道温29.8℃であり、復温を施行した。入院後の検査より乳酸アシドーシスと診断、血糖コントロール、脱水の補正、アルカリ化を図り、意識状態は改善した。乳酸アシドーシスは死亡率が高いが、本症例では救命することができた。今回我々は高齢者で乳酸アシドーシスに低体温を伴った症例を経験したので報告する。

キーワード：乳酸アシドーシス、低体温、高齢者糖尿病

直腸内異物により穿孔性腹膜炎を来たした1例

津山中央病院消化器内視鏡センター

大森敏規 藤本 剛 藤木茂篤 太田 茂 森藤由記 友田 健
榊原一郎 今川 敦 田中弘教 平良明彦 拓野浩史

要旨

症例は50歳代、男性。2007年8月3日、飲食後泥酔状態で風俗店へ行き肛門内に異物（ソーセージ）を挿入され、当時の記憶なく異物は抜去されたと思い帰宅した。8月6日頃から腹部膨満感が出現し、その後、腹痛・嘔気が増悪したため、8月9日、前医を受診したところ、直腸異物嵌頓による腸閉塞が疑われ、精査加療目的で当院救急外来へ救急搬送された。来院時、著明な腹痛・嘔気を認め、理学所見では腹部は全体的に膨満、左腹部に圧痛、反跳痛を認めた。直腸診にて異物の下端を触知したが、鮮血は認めなかった。腹部Xpでは遊離ガス所見なく、単純CTでは長径18cm、直径2cmの棒状の異物が直腸からS状結腸にかけて残存している所見を認めた。血液検査ではWBC：10300、CRP：35.5と炎症反応の上昇を認め、腹膜炎の合併も疑われた。緊急下部消化管内視鏡検査を施行し、直腸下部にソーセージを認め、先端金属部をスネアで把持し慎重に抜去した。処置後の観察にて、異物上端と粘膜が接していたと考えられる部位に深い潰瘍形成を認め、洗浄観察すると同部から胆汁の流出を認め、穿孔性腹膜炎を併発していると診断し、緊急開腹術を施行した。開腹所見では腹腔内は便汁が充満し、小腸、S状結腸は著しく拡張し、S状結腸に10mm大の穿孔部が確認された。穿孔部を切除し、切除断端口側を左下腹部に持ち上げ人工肛門を造設し、肛門側は閉鎖した。経過は良好で術後20日目に退院となった。今回、我々は直腸内異物により穿孔性腹膜炎を来たした1例を経験したので、若干の考察を加えて報告する。

キーワード：直腸内異物、穿孔性腹膜炎、下部内視鏡

5 月に発症した低力価寒冷凝集素症の一例

津山中央病院小児科

松下博亮 北本晃一 山本倫子 片山 威 杉本守治
梶 俊策 藤本佳夫

要旨

症例は4歳女児。平成19年5月初旬39℃の発熱あり、近医受診。手足の痛み、腹痛、咽頭痛、肉眼的血尿にて紹介受診となった。尿蛋白2+、尿潜血3+、沈渣にてRBC2-3/HPF。入院後より、Hb低下、LDH・AST・CK上昇。直接クームス(+)サブクラスC3B/C3D、寒冷凝集素256倍であり、低力価寒冷凝集素症と診断した。Hbは6.5g/dl、5.3g/dlと低下時にMAP1uずつ(計2u)の輸血した。先行感染の原因は同定できなかったが、炎症反応の上昇あり、抗生剤を投与し、解熱・炎症反応の陰性化とともに貧血は自然に改善した。発症1ヶ月後には直接クームスは陰性化し、寒冷凝集素は64倍へ低下し、Hbは11.3g/dlへ上昇した。本例は寒冷凝集素が37℃で陽性で作用温度域が拡大しており、5月に発症した低力価寒冷凝集素症の一例であった。

キーワード：低力価寒冷凝集素症、発作性寒冷血色素尿症、溶血性貧血

新生児同種免疫性血小板減少症（NAIT）の1同胞例

津山中央病院小児科

山本倫子 松下博亮 片山 威 杉本守治 梶 俊策 藤本佳夫

要旨

HPA（Human Platelet Antigen）－3aの母子間不適合による新生児同種免疫性血小板減少症（neonatal alloimmune thrombocytopenia、NAIT）の1同胞例を経験した。出生時より出血斑および著明な血小板減少（姉：1.6万/mm³、妹：0.8万/mm³）を認め、血小板輸血およびγ－globulin投与で加療した。当初、第1子出産時には母体血中には抗体は検出されず、第2子出産時には抗HLA－A24抗体のみが検出されたが、再検査で抗HPA－3a抗体が検出された。HPA typingとHPA抗体の検出は容易ではなく、検査施設間で感度が異なり、診断に難渋したが、本例では福島県立医科大学輸血・移植免疫部の協力で診断に至った。

キーワード：NAIT（neonatal alloimmune thrombocytopenia）、HPA－3a、HLA抗体

水痘回復期に筋炎と肝障害を呈し、 劇症型A群溶連菌感染症の前段階となった一乳児例

津山中央病院小児科

北本晃一 山本倫子 松下博亮 片山 威 杉本守治 梶 俊策 藤本佳夫

かんだ小児科医院

荏田総一郎

要旨

水痘は一般的には予後良好であるが、近年劇症型A群溶連菌感染症の合併が注目されている。症例は9ヶ月女児、水痘に罹患し近医でアシクロビルの内服が開始された。水痘の発疹、咽頭発赤、下痢あり。5日目となり水痘の発疹は痂皮化が進んだが、高熱が続き元気がなく、うつぶせで寝てばかりで元気がなく、CRP高値なことから当院紹介となった。来院時、咽頭発赤あり、莓舌あり、左上腕に発赤腫脹あり軽度蜂窩織炎様であった。水痘の発疹は痂皮化していた。入院時データはAST：221 IU/l、ALT：123 IU/l、CK：22520 IU/l、ALB：2.8 g/dl、IgG：176 mg/dl。#1高熱、#2水痘回復期、#3咽頭発赤、#4莓舌、#5蜂窩織炎、#6ストレプト迅速検査陽性、#7トランスアミナーゼ上昇（又は肝障害）、#8 IgG低下、#9CK上昇より劇症型溶連菌感染症を疑い、抗生剤3剤、免疫グロブリン、デキサメサゾン、アルブミンにて治療した。CK値は順調に低下し改善した。血圧低下が認められれば劇症型溶連菌感染症の診断基準をみたしたが、治療開始前の血圧が不明であり疑診までとなった。水痘回復期に劇症型A群溶連菌感染症を発症した症例報告がみられており、いったん発症すれば進行は急速で致死率が高い。水痘症罹患期の遷延する発熱、食欲不振に対して安易に経過を診ることは非常に危険である。我々は水痘後の細菌二次感染の危険性を十分に認識しなくてはならない。

キーワード：劇症型A群溶連菌感染症、免疫グロブリン、水痘症回復期

Henoch – Schönlein 紫斑病に合併した急性陰囊症の1例

津山中央病院泌尿器科

藤田 治 中田哲也 明比直樹

要旨

症例は、5歳、男児。2007年1月9日夜より咽頭痛、1月10日夜より下肢の紫斑が出現し、1月11日朝より嘔吐下痢があり、当院小児科を受診した。Henoch – Schönlein 紫斑病の診断にて入院の上、PSL投与の開始となった。以後軽快していたが、1月13日夕方より紫斑が増加、腹痛、関節痛、足関節の腫脹が出現。1月14日より左陰嚢腫脹・発赤・疼痛が出現し、1月15日当科へ紹介となる。検尿所見は異常なし。左陰嚢腫脹・疼痛が強く、精索捻転を完全には否定できないが、超音波ドップラーおよび造影MRIにて血流を確認できた為、Henoch – Schönlein 紫斑病に合併した急性陰嚢症と考え、XIII因子の補充にて経過観察とした。1月16日以降徐々に紫斑、腹痛、関節痛とともに左陰嚢腫脹・疼痛が軽減するも、1月17日対側の右陰嚢腫脹・発赤・疼痛が出現し、再びXIII因子の補充にて紫斑は消失し、関節痛の消失とともに陰嚢部病変は軽快した。両側精巣の萎縮も認めていない。

Henoch – Schönlein 紫斑病の全身性症状の一つとして、急性陰嚢症を理解しておくことは重要であり、時に精索捻転との鑑別に苦慮する場合もあり、注意を要するものと思われた。

キーワード：Henoch – Schönlein 紫斑病、急性陰嚢症、保存的加療

卵巣囊腫茎捻転との鑑別が困難であった、腹腔鏡にて診断、治療し得たメッケル憩室茎捻転の一症例

津山中央病院産婦人科

楠本知行 河原義文

津山中央病院外科

野中泰幸 松本朝子 林 同輔

津山中央病院病理部

三宅孝佳

要旨

メッケル憩室は人口の約2%に認められる疾患であるが、巨大化し、癒着、捻転を引き起こすケースは稀であると言われる。術前に卵巣腫瘍との鑑別が困難であったメッケル憩室捻転・絞扼壊死の症例を経験したので報告する。

症例は36歳 既婚 4経妊 1経産（経腔分娩）、月経異常なし。

現病歴：間歇的な右下腹部痛が出現し、初発症状の出現の翌朝に救急外来を受診した。理学的所見では、右下腹部に圧痛を認めるも、腹膜刺激症状なし。CTにて骨盤内腫瘍を認め婦人科紹介となり、経腔超音波検査などの後、右卵巣囊腫捻転あるいは卵管留膿腫疑いにて腹腔鏡下手術施行となる。腹腔鏡所見：子宮は正常大、膿性腹水を認めた。両側卵巣卵管は正常大で癒着も認めなかった。右虫垂も正常であったが、5-6cmに腫大腫脹した小腸の一部を認め、外科医にコンサルトした。腹腔鏡補助に小開腹にて体外に牽引し、回腸に発症したメッケル憩室及びその捻転と診断し、回腸部分切除施行となる。下腹部痛を主訴にした救急疾患には、術前診断に苦慮することがしばしばある。今回の症例は、憩室の発生部位が右付属器に隣接していたこと、捻転によるイレウスを認めず、消化器症状に乏しかった点などから術前の診断は困難であった

キーワード：原因不明の腹痛、腹腔鏡下手術、メッケル憩室捻転

FDG－PETが確定診断の決め手になった胆嚢癌の1例

津山中央病院放射線科

藤島 護 河原道子 黒川浩典

津山中央病院内科

藤本 剛 太田 茂

津山中央病院病理

三宅孝佳

要旨

今回我々は、左側腹部痛を主訴に来院した症例にFDG－PETを施行し、原発巣の同定と確定診断の決め手となった症例を経験した。症例は70歳代の女性。左側腹部痛が出現し、近医を受診し、腹部超音波検査にて胆嚢壁肥厚を指摘された。当院内科に紹介となり、各種検査を施行し、胆嚢癌および頸部リンパ節転移と診断され、同リンパ節生検の結果、胆嚢癌のリンパ節転移が確認された。まだ保険適応にはなっていないが、胆嚢癌の診断にFDG－PETは有用であった。

キーワード：FDG－PET、胆嚢癌、Virchow リンパ節

Kaposi肉腫を初発症状とした AIDS の 1 例

津山中央病院皮膚科

大西明美 宮本 亨

津山中央病院内科

田中弘教

要旨

37歳男性。2005年春に全身掻痒感で当科を受診した。その時には乾皮症以外の皮疹は認めなかった。その後、躯幹・四肢に暗紫紅色調の腫瘍を生じていたようだが、自覚症状が無かったため放置していた。2007年8月、腫瘍に疼痛を伴うようになり近医を受診し、当科に紹介された。既往歴に特記事項はなく、同性愛について本人は否定した。ほぼ全身に鶏卵大までの軽度盛り上がりのある暗紫紅色腫瘍が散在していた。採血上 CD4 の著明な低値、肝障害を認め、HIV-1 抗体が陽性だった。病理組織学的には、真皮上層で血管内皮が腫大した血管やスリット状の血管が増生していた。免疫組織化学染色では CD34、D2-40 が陽性だった。以上より、AIDS に伴う Kaposi 肉腫と診断した。やや盛り上がりのある暗紫紅色腫瘍のみが全身に多発し、その他の全身症状が乏しい AIDS 関連 Kaposi 肉腫の症例を経験したので、若干の文献的考察を加えて報告する。

キーワード：AIDS、カポジ肉腫

口腔内乾燥に効果的なケア回数の検証 ～口腔水分計を使用して～

津山中央病院4階西病棟
田中美香 江口枝梨圭

心臓血管外科患者に対するICU術前オリエンテーションの検討 —ICU入室パンフレットを作成して—

津山中央病院救命救急センター

前田洋子 高木祐美子 森岡美紀

手術室における実習内容の検討
－患者体験学習を取り入れて－

津山中央病院手術室

棟久弓美子

現在の学生の看護技術到達度と今後の課題

津山中央看護専門学校

岡部 泉

学会発表及び教育活動

- | ＜内 科＞ | 査結果」
永瀬 亮 |
|---|---|
| ① 美作肝疾患研究会
平成19年1月
「尾状葉に存在するHCCに対する局所療法」
田中弘教 | ⑦ 岡山医師会生涯教育講座 ウイルス性肝炎
診療従事者研修会 津山
平成19年3月
「最新の肝炎ウイルス治療の現状 ～かかりつけ医との連携推進に向けて～」
田中弘教 |
| ② 美作肝疾患研究会
平成19年1月
「FNH（focal nodular hyperplasia：限局性結節性過形成）の3症例」
渡邊めぐみ、田中弘教 | ⑧ 高梁医師会学術講演会
平成19年4月
「PEGを用いた地域連携－岡山県北部の現状と今後」
平良明彦 |
| ③ 第22回日本静脈経腸栄養学会
平成19年2月
「胃瘻栄養患者におけるチアーパック入り半固形化栄養剤の注入方法の検討」
平良明彦 | ⑨ 第73回日本消化器病内視鏡学会総会
平成19年4月
「総胆管結石症例における内視鏡的胆道ステント留置術後の胆管炎長期再発に關与する因子の検討」
柘野浩史、友田 健、森藤由記、永原照也、西田知弘、藤本 剛、今川 敦、田中弘教、平良明彦、高畠弘行、藤木茂篤 |
| ④ 第16回日本消化器内視鏡学会四国セミナー
平成19年2月
「安全なPEG造設及びその管理」
平良明彦 | ⑩ 第93回日本消化器病学会
平成19年4月
「当科における下部消化管緊急内視鏡検査の検討」
藤本 剛、友田 健、森藤由紀、永原照也、西田知弘、今川 敦、田中弘教、平良明彦、柘野浩史、高畠弘行、藤木茂篤 |
| ⑤ 岡山医師会生涯教育講座 ウイルス性肝炎
診療従事者研修会 美作
平成19年2月
「最近のウイルス性肝炎治療の現状～専門医との連携の必要性～」
田中弘教 | |
| ⑥ 美作医会学術講演会（糖尿病神経障害）
平成19年3月
「津山中央病院糖尿病外来における実態調 | |

- ⑪ 第43回日本肝臓学会総会
平成19年5月
「当院における肝膿瘍57例の臨床的検討」
松下浩志、田中弘教、西田知弘、
柘野浩史、高畠弘行、藤木茂篤
- ⑫ 第43回日本肝臓学会総会
平成19年5月
「転移性肝癌に対するラジオ波熱凝固療法の有用性」
能祖一裕、田中弘教など
- ⑬ 第73回日本消化器内視鏡学会
平成19年5月
「当院で経験した急性出血性直腸潰瘍23症例の検討」
藤本 剛、太田 茂、杉原雄策、
森藤由記、友田 健、永原照也、
西田知弘、今川 敦、田中弘教、
平良明彦、柘野 浩史、高畠 弘行、
藤木茂篤
- ⑭ 第97回日本消化器病内視鏡学会中国地方会
平成19年5月
「治療法の選択に難渋した直腸 Follicular Lymphoma の1例」
友田 健、森藤由記、永原照也、
西田知弘、藤本 剛、今川 敦、
田中弘教、平良明彦、柘野浩史、
高畠弘行、藤木茂篤
- ⑮ 第97回日本消化器病内視鏡学会中国地方会
平成19年5月
「内視鏡的乳頭バルーン拡張術後に摘出し得た胆道内回虫完全迷入症の1例」
森藤由記、友田 健、永原照也、
西田知弘、藤本 剛、今川 敦、
田中弘教、平良明彦、柘野浩史、
- 高畠弘行、藤木茂篤
- ⑯ 第97回日本消化器病内視鏡学会中国地方会
平成19年5月
「ペパーミントオイル散布法による安全で苦痛の少ない上部消化管内視鏡検査」
太田 茂、友田 健、森藤由記、
永原照也、西田知弘、藤本 剛、
今川 敦、田中弘教、平良明彦、
柘野浩史、高畠弘行、藤木茂篤
- ⑰ 第73回日本消化器内視鏡学会
平成19年5月
「当院での経皮内視鏡的胃瘻造設術（PEG）420例の長期予後の検討」
平良明彦、柘野浩史、藤木茂篤
- ⑱ 第43回日本肝癌研究会
平成19年6月
「リピオドールマーキング法がラジオ波熱凝固療法の効果判定に有用であった2症例」
田中弘教、高畠弘行、西田知弘、
三好健司、藤木茂篤、小橋春彦
- ⑲ 第43回日本肝癌研究会
平成19年6月
「局所療法前後のAFPの予後に及ぼす影響—cut off値別解析—」
能祖一裕、田中弘教など
- ⑳ 津山肝疾患ネットワーク
平成19年6月
「当院におけるインターフェロン少量長期療法の成績」
西田知弘

- ②① 美作肝疾患研究会
平成19年7月
「RFAの効果判定におけるリピオドール
マーキング法の有用性」
田中弘教
- ②② 美作肝疾患研究会
平成19年7月
「超音波造影剤ソナゾイドの使用経験」
太田 茂、田中弘教
- ②③ 美作肝疾患研究会
平成19年7月
「肝膿瘍の治療効果に影響する因子の検討
(当院における肝膿瘍57例より)」
松下浩志、田中弘教
- ②④ 美作肝疾患研究会
平成19年7月
「肝癌の再発に寄与する因子」
三好健司
- ②⑤ 倉敷糖尿病治療フォーラム
平成19年7月
「インスリンアナログ混合製剤50/50の臨
床使用経験」
永瀬 亮
- ②⑥ 岡山県北部B型肝炎セミナー
平成19年7月
「当院におけるバラクルード錠の使用経験」
西田知弘
- ②⑦ 第9回鶴山消化器カンファレンス
平成19年7月
「当院におけるダブルバルーン小腸内視鏡
の使用経験」
藤本 剛、藤木茂篤、太田 茂、
友田 健、森藤由記、榊原一郎、
西田知弘、三好健司、今川 敦、
田中弘教、平良明彦、柘野浩史
- ②⑧ 岡山大学GIカンファレンス
平成19年7月
「当院での経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)
420例のアウトカムの検討」
平良明彦
- ②⑨ 第5回中日内視鏡・消化器学術交流会
平成19年9月
「PropofolとBISモニターを使用した早期
胃癌ESDにおける鎮静・周術期管理の工
夫 ～特に高齢者に対して～」
今川 敦
- ③⑩ 第12回HEQ研究会
平成19年9月
「超高齢者における経皮内視鏡的胃瘻造設
術(PEG)のアウトカム評価」
平良明彦、太田 茂、森藤由記、
友田 健、榊原一郎、今川 敦、
藤本 剛、柘野浩史、藤木茂篤
- ③⑪ JDDW 2007 Kobe パネルディスカッ
ション14 高齢社会の消化器スクリーニ
ングのあり方をめぐって
平成19年10月
「高齢のC型慢性肝炎患者に対する肝癌サ
ーベイランスの意義について(費用効果分
析による検討より)」
田中弘教、岩崎良章、Noriaki Aoki
- ③⑫ 日本糖尿病学会中国四国地方会第45回総
会(松山)
平成19年10月
「一過性の舞踏様運動を呈した緩徐進行1

型糖尿病の1例」

田中由希子、永瀬 亮、四方賢一

- ③③ 日本糖尿病学会中国四国地方会第45回総会（松山）

平成19年10月

「著明な低体温と乳酸アシドーシスを合併した高齢糖尿病の1例」

木下智香子、永瀬 亮、四方賢一

- ③④ JDDW2007

平成19年10月

「PropofolとBISモニターを使用した高齢者の早期胃癌ESDにおける鎮静・周術期管理の工夫」

今川 敦、平良明彦、藤木茂篤

- ③⑤ APDW2007

平成19年10月

「Appropriate management of bleeding using hemostatic forceps in Endoscopic Submucosal Dissection (ESD)」

Atsushi Imagawa*, Shigeatsu Fujiki, Yoshiro Kawahara**, Shigeru Ota*, Yuusaku Sugihara, Takeshi Tomoda, Yuki Morito, Teruya Nagahara, Ichiro Sakakihara, Tsuyoshi Fujimoto, Akihiko Taira, Hirofumi Tsugeno, Ryuta Takenaka***

- ③⑥ UEGW2007

平成19年10月

「Bispectral index monitoring of propofol sedation during Endoscopic Submucosal Dissection: A prospective, randomized study」

Atsushi Imagawa*, Shigeatsu Fujiki, Yoshiro Kawahara**, Shigeru Ota*,

Takeshi Tomoda, Yuki Morito,

Ichiro Sakakihara, Tsuyoshi Fujimoto, Akihiko Taira, Hirofumi Tsugeno, Ryuta Takenaka***

- ③⑦ UEGW2007

平成19年10月

「Selection of knife devices according to the situation for use in Endoscopic submucosal dissection」

Atsushi Imagawa*, Shigeatsu Fujiki, Yoshiro Kawahara**, Shigeru Ota*, Takeshi Tomoda, Yuki Morito, Ichiro Sakakihara, Tsuyoshi Fujimoto, Akihiko Taira, Hirofumi Tsugeno, Ryuta Takenaka***

- ③⑧ JDDW2007

平成19年10月

「総胆管結石に対する内視鏡的十二指腸乳頭切開術（EST）と内視鏡的胆道ステント留置術（EBD）との使い分け」

柘野浩史、平良明彦、藤木茂篤

- ③⑨ JDDW2007

平成19年10月

「PEGにおける造設医が果たすべき役割～バードジェニーシステム（PEGタイプII）によるPull法造設の使用経験を交えて～」

平良明彦

- ④⑩ 杉原雄策、今川 敦、太田 茂、友田 健、森藤由記、大森佐恵子、永原照也、西田知弘、永瀬 亮、藤本 剛、勝田知也、田中弘教、平良明彦、森山道彦、柘野浩史、高島弘行、藤木茂篤「当院で経験した胃アニサキス10例の臨床症状および内視鏡像の

検討」津山中央病院医学雑誌 第21巻
第1号 27-32 2007

- ④① 森藤由記、平良明彦、太田 茂、友田 健、
永原照也、今川 敦、藤本 剛、柘野浩史、
藤木茂篤「内視鏡的乳頭バルーン拡張術
(EPBD) 後に内視鏡的に摘出し得た胆道
内回虫完全迷入症の1例」津山中央病院医
学雑誌 第21巻 第1号 93-97 2007

- ④② 太田 茂、今川 敦、杉原雄策、友田 健、
森藤由記、大森佐恵子、永原照也、西田知
弘、永瀬 亮、藤本 剛、勝田知也、田中
弘教、平良明彦、森山道彦、柘野浩史、高
畠弘行、藤木茂篤「腹膜透析中に発症し
^{99m}Tc-HASにより心膜腔と交通を証明でき
た極めて稀な横隔膜交通症の一例」津山
中央病院医学雑誌 第21巻 第1号 99-103
2007

- ④③ Tsuyoshi Fujimoto, Jun Kato, Junichirou
Nasu, Motoaki Kuriyama, Hiroyuki
Okada, Hiroshi Yamamoto, Motowo
Mizuno and Yasushi Shiratori「Change of
Clinical Characteristics of Ulcerative
Colitis in Japan; Analysis of 844 Hospital
Based Patients from 1981 to 2000」
European Journal Gastroenterology and
Hepatology Vol.19 229-235 2007

- ④④ 平良明彦「PEG 後合併症予防への取り組
み」カンガルーニュース Vol.9 1-3
2007

<循環器>

- ① 美作医会
平成19年1月

「Different Effects of Atorvastatin and
Pravastatin on HbA1c in Hyperlipidemia
Patients with Initially Normal HbA1c
～スタチンの糖代謝に及ぼす影響について
～」

小松原一正

- ② 第54回冠動脈造影研究会

平成19年3月

「BMS留置後、長期経過後に仮性冠動脈
瘤を形成し、SES留置にて改善した1例」

小松原一正

- ③ 第4回せとうち心臓血管外科セミナー

平成19年4月

「PCI Uptodate」

小松原一正

- ④ 美作心臓血管カンファレンス

平成19年4月

「心不全」

小松原一正

- ⑤ 第90回日本循環器学会 中国・四国合同
地方会 松山

平成19年6月

「CTガイド下肺生検施行後、空気塞栓に
よる急性心筋梗塞を発症した一例」

清藤哲司

- ⑥ 第90回日本循環器学会 中国・四国合同
地方会 松山

平成19年6月

「左前下行枝、右冠動脈にCypher stent
留置後、同時に亜急性血栓閉塞を認めた一
例」

尾上 豪

- ⑦ AHA
平成19年11月
「Presentation Title: Hydrogen Peroxide Plays a Crucial Role in Coronary Microvascular Vasodilation with Increased Oxidative Stress in Right Ventricles of Pulmonary Hypertensive Rats」
梶谷昌史
- ⑧ 第91回 日本循環器学会中国地方会
平成19年12月
「肺高血圧ラット右室冠毛細管における赤血球ヘモダイナミクスの変化」
梶谷昌史
- ⑨ 第91回 日本循環器学会中国地方会
平成19年12月
「重症大動脈弁狭窄症に合併した血栓塞栓による急性心筋梗塞の一例」
小松原一正
- ③ 第162回岡山外科会 倉敷
平成19年2月
「仙骨前面に発生したMyelolipomaの1例」
中山晴輝、渡邊めぐみ、衛藤弘城、河合 毅、横道直祐、母里淑子、松本朝子、松村年久、野中泰幸、林 同輔、宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦
- ④ 第162回岡山外科会 倉敷
平成19年2月
「胸腔内結腸嵌頓を来した外傷性遅発性横隔膜破裂の1例」
久保田暢人、渡邊めぐみ、衛藤弘城、中山晴輝、河合 毅、横道直祐、滝内宏樹、母里淑子、松本朝子、松村年久、野中泰幸、林 同輔、宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦

<外科・心臓血管外科>

- ① 第16回岡山心臓血管外科手術手技研究会
岡山
平成19年1月
「Mid-aortic syndromeに対する血行再建術の経験」
松本三明、末廣晃太郎、久保裕司
- ② 第162回岡山外科会 倉敷
平成19年2月
「術前診断が困難であったIPNL（肝内胆管内乳頭粘液性腫瘍）の1例」
渡邊めぐみ、衛藤弘城、久保田暢人、中山晴輝、河合 毅、横道直祐、滝内宏樹、母里淑子、松本朝子、
- ⑤ 第4回せとうち心臓血管外科セミナー 岡山
平成19年4月
「左前下行枝、右冠動脈にCypher Stent留置後、同時に亜急性血栓閉塞を認めた1例」
尾上 豪、小松原一正、俣野 茂、清藤哲司、河野康之、松本三明、末廣晃太郎、松本朝子
- ⑥ 第35回血管外科学会学術総会 名古屋
平成19年5月
「Mid-Aortic Syndromeに対する血行再建術（ビデオセッション）」
松本三明、末廣晃太郎、久保裕司

- ⑦ 第163回岡山外科会 岡山
平成19年6月
「胃癌術前のCT検査にてfree airを認めた腸管囊腫様気腫症の1例」
大森敏規、松村年久、片山裕子、前山博輝、中山晴輝、河合 毅、滝内宏樹、母里淑子、松本朝子、野中泰幸、藤原拓造、林 同輔、宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦
平成19年6月
「末期癌患者の消化管閉塞に伴う消化器症状に対するoctreotideの効果」
母里淑子、野中泰幸、徳田直彦
- ⑧ 第163回岡山外科会 岡山
平成19年6月
「腸重積症にて発症した回腸Inflammatory fibroid polypの1例」
片山裕子、野中泰幸、大森敏規、前山博輝、渡邊めぐみ、中山晴輝、河合 毅、滝内宏樹、母里淑子、松本朝子、松村年久、藤原拓造、林 同輔、宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦、三宅孝佳
⑫ 第12回日本緩和医療学会総会 岡山
平成19年6月
「癌末期患者におけるPCAポンプの有用性」
西崎文祥、近藤祥代、藤本 剛、野中泰幸、徳田直彦
- ⑨ 第163回岡山外科会 岡山
平成19年6月
「広範囲壊死性筋膜炎の1例」
前山博輝、藤原拓造、片山裕子、大森敏規、中山晴輝、河合 毅、滝内宏樹、母里淑子、松本朝子、松村年久、野中泰幸、林 同輔、宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦
⑬ 第38回日本血管外科学会中国四国地方会三原
平成19年7月
「膝窩動脈外膜囊胞の1例」
久保陽司、末廣晃太郎、松本三明
- ⑩ 第90回日本循環器学会中国四国地方会松山
平成19年6月
「院外心肺停止後蘇生患者に対する緊急CABG2例の経験」
松本三明、末廣晃太郎、久保陽司
⑭ 第38回日本血管外科学会中国四国地方会三原
平成19年7月
「Distafloを用いた大腿一下腿動脈バイパスの早期成績」
末廣晃太郎、久保陽司、松本三明
- ⑪ 第12回日本緩和医療学会総会 岡山
平成19年6月
「著明な肝酵素上昇をきたしたショック肝の1救命例」
渡邊めぐみ、林 同輔、中山晴輝、河合 毅、滝内宏樹、松本朝子、松村年久、野中泰幸、藤原拓造、宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦
⑮ 第3回岡山県北臓器障害フォーラム 症例検討会 津山
平成19年9月
「著明な肝酵素上昇をきたしたショック肝の1救命例」
渡邊めぐみ、林 同輔、中山晴輝、河合 毅、滝内宏樹、松本朝子、松村年久、野中泰幸、藤原拓造、宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦
- ⑯ 第3回岡山県北臓器障害フォーラム 症例検討会 津山
平成19年9月

- 「当院で経験した壊死性筋膜炎の3症例」
 中山晴輝、河合 毅、藤原拓造、
 渡邊めぐみ、滝内宏樹、松本朝子、
 松村年久、野中泰幸、林 同輔、
 宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦
- ①⑦ 第73回岡山大学第1外科教室開講記念会
 岡山
 平成19年10月
 「当院における下部消化管穿孔の検討」
 河合 毅、藤原拓造、松本朝子、
 松村年久、野中泰幸、林 同輔、
 宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦
- ①⑧ 緩和ケアチームについてのシンポジウム
 平成19年11月
 「当院における緩和医療委員会の取り組み
 と課題」
 野中泰幸
- ①⑨ 第69回日本臨床外科学会総会 横浜
 平成19年11月
 「当院における80歳以上の高齢者肺癌に
 対する手術症例の検討」
 渡邊めぐみ、林 同輔、松本朝子、
 松村年久、野中泰幸、藤原拓造、
 黒瀬通弘、徳田直彦
- ②⑩ 第69回日本臨床外科学会総会 横浜
 平成19年11月
 「大量咯血を伴った外傷性肺内血腫・肺挫
 傷の1救命例」
 松本朝子、松村年久、野中泰幸、
 藤原拓造、林 同輔、黒瀬通弘、
 徳田直彦
- ②⑪ 第69回日本臨床外科学会総会 横浜
 平成19年11月
- 「胸腔鏡下に切除した食道壁内前腸嚢胞の
 1例」
 林 同輔、渡邊めぐみ、滝内宏樹、
 松本朝子、松村年久、野中泰幸、
 藤原拓造、黒瀬通弘、徳田直彦
- ②② 第69回日本臨床外科学会総会 横浜
 平成19年12月
 「腸重積にて発症した回腸 Inflammatory
 fibroid polyp (IFP) の2例」
 滝内宏樹、野中泰幸、渡邊めぐみ、
 松本朝子、松村年久、藤原拓造、
 林 同輔、黒瀬通弘、徳田直彦
- ②③ 第91回日本循環器学会中国地方会 米子
 平成19年12月
 「95歳女性急性冠症候群に対する緊急冠
 動脈バイパス術」
 末廣晃太郎、久保陽司、松本三明、
 小松原一正
- ②④ 第91回日本循環器学会中国地方会 米子
 平成19年12月
 「診断に難渋した胸部下行大動脈瘤肺内破
 裂の1手術例」
 久保陽司、末廣晃太郎、松本三明
- ②⑤ 横道直祐、林 同輔、中山晴輝、河合 毅、
 母里淑子、松本朝子、松村年久、野中泰幸、
 宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦「門脈ガス
 血症を呈した2例」津山中央病院医学雑誌
 21 81-86 2007
- ②⑥ 久保田暢人、松本朝子、渡邊めぐみ、衛藤
 弘城、中山晴輝、河合 毅、横道直祐、滝
 内宏樹、母里淑子、松村年久、野中泰幸、
 林 同輔、宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦
 「胸腔内結腸嵌頓を来した遅発性外傷性横

隔膜ヘルニアの1例」津山中央病院医学雑誌 21 87-92 2007

- ②⑦ Matsumoto M, Suehiro K and Kubo H
「Clot formation between the folded graft layers in the reversed elephant trunk technique at the second stage of total arch replacement」 General Thoracic and Cardiovascular Surgery 55 (1) 23-25 2007

- ②⑧ 松本三明、末廣晃太郎、久保裕司、津島義正、吉鷹秀範、杭ノ瀬昌彦、南 一司、物部泰昌「心タンポナーデをきたした巨大脂肪肉腫心臓転移の1例」胸部外科 60 (1) 65-68 2007

- ②⑨ 松本三明、末廣晃太郎、久保裕司、森本直樹、白石建輔、笠井慎也、萩岡信吾、内藤宏道、長江正晴「院外心肺停止後蘇生患者に対する緊急CABG」胸部外科 60 (2) 97-101 2007

- ③⑩ 松本三明、末廣晃太郎、久保裕司「診断に難渋した胸部下行大動脈瘤肺内破裂の1例」胸部外科 60 (10) 932-934 2007

<形 成 外 科>

- ① 第53回日本形成外科学会中国・四国支部学術集会 岡山
平成19年2月
「悪性腫瘍様外観を呈した足底腫瘍の1例」
徳岡晋太郎、藤原一人、奥山典秀他

<小 児 科>

- ① 第21回岡山新生児研究会 岡山市

平成19年1月

「帝王切開で出生した児のクリニカルパスの検討」

保田 司、野倉由紀香、藤本幸子、
立石由香、坂手佐千子、山本倫子、
栄徳隆裕、松下博亮、片山 威、
杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫

- ② 真庭市子育て講演会 真庭市

平成19年2月

「子どもがかかりやすい病気やけがとその対処について」

梶 俊策

- ③ 第76回岡山小児てんかん懇話会

平成19年2月

「発症時、画像所見に乏しかった急性散在性脳脊髄炎の一例」

松下博亮、山本倫子、栄徳隆裕、
片山 威、杉本守治、梶 俊策、
藤本佳夫

- ④ 作陽保育園子育て講演会

平成19年2月

「子どもがかかりやすい病気やけがとその対処について」

杉本守治

- ⑤ 第79回山陰小児科学会 松江市

平成19年4月

「当科で経験した腸間膜リンパ節炎の臨床的検討」

松下博亮、山本倫子、片山 威、
杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫

- ⑥ 第110回日本小児科学会総会 京都

平成19年4月

「低出生体重にて出生し、成長ホルモン分

泌不全を伴ったクラインフェルター症候群
の一例」

杉本守治、栄徳隆裕、松下博亮、
片山 威、梶 俊策、藤本佳夫

⑦ 第7回子供健康教室 院内

平成19年5月

「急いでかかるべき子どもの病気」

梶 俊策

⑧ 第174回津山小児科医会

平成19年5月

「当科における成長障害児の現状」

杉本守治

⑨ 第15回日本小児心身医学会中国四国地方
会 松山市

平成19年5月

「小児科外来における知能検査の意義」

片山 威、山本倫子、松下博亮、
杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫、
笠置綱清*

*YMCA 米子医療福祉専門学校

⑩ 第61回日本小児科学会鳥取地方会 米子
市

平成19年6月

「化膿性髄膜炎に併発し保存的加療により
改善した硬膜下膿瘍の2例」

松下博亮、山本倫子、片山 威、
杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫

⑪ 第61回日本小児科学会鳥取地方会 米子
市

平成19年6月

「小児心身症に対するWISC-Ⅲ知能検査の
意義」

片山 威、山本倫子、松下博亮、

杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫、
笠置綱清*

*YMCA 米子医療福祉専門学校

⑫ 第61回日本小児科学会鳥取地方会 米子
市

平成19年6月

「昨年経験した日本脳炎ウイルスによる無
菌性髄膜炎の2例」

梶 俊策、片山 威、山本倫子、
松下博亮、杉本守治、藤本佳夫

⑬ 第15回岡山小児心身症研究会 岡山市

平成19年7月

「症状へのこだわりの強い児に小児科医は
どうかかわるのがよいのか」

片山 威、山本倫子、松下博亮、
杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫、
笠置綱清*

*YMCA 米子医療福祉専門学校

⑭ 津山市立中道中学校 PTA 子ども健康教
室

平成19年7月

「思春期の体と心の成長」

梶 俊策

⑮ 第3回中国四国思春期学会 米子市

平成19年7月

「こころの問題を考える会ホームページの
10年間のまとめ」

片山 威、山本倫子、松下博亮、
杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫、
笠置綱清*

*YMCA 米子医療福祉専門学校

⑯ 第24回日本小児肝臓研究会 東京

平成19年7月

「乳児期肝内胆汁うっ滞・肝脂肪変性・筋力低下・成長障害を呈し、診断に苦慮している一兄弟例」

梶 俊策、山本倫子、松下博亮、
片山 威、杉本守治、藤本佳夫

①⑦ 第8回 子供健康教室 院内

平成19年7月

「こどもの成長と生活習慣について」

杉本守治

①⑧ 希望ヶ丘ホスピタルこどもセンター ohana 会

平成19年7月

「津山中央病院での心身症に対するとりくみと地域連携への提言（院内学級の活動紹介等）」

片山 威

①⑨ 子育てセミナーキャラバン隊 in 美作 セミナー

平成19年8月

「みんなで考えよう、子育て支援」

梶 俊策

②⑩ 岡山新生児感染症フォーラム

平成19年8月

「呼吸障害・関節拘縮・病的骨折・低Ca血症・多発奇形・低筋緊張にて新生児期に死亡した一例」

杉本守治、倉信裕樹*、山本倫子、
松下博亮、片山 威、梶 俊策、
藤本佳夫

*現鳥取県立中央病院

②⑪ 第25回日本小児心身医学会 北海道

平成19年9月

「当院で入院加療した食行動異常11例の

臨床的検討」

片山 威、山本倫子、松下博亮、
杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫、
笠置綱清*

*YMCA 米子医療福祉専門学校

②② 山陽新聞社子育て応援イベント「おぎゃつと21 in 津山」

平成19年9月

「急いでかかるべき子どもの病気」

梶 俊策

②③ 津山市立東中学校保健研修会

平成19年9月

「早寝早起き朝ご飯と子どものメタボリック症候群」

梶 俊策

②④ 第80回山陰小児科学会 米子市

平成19年9月

「RSウイルス感染乳児へのデキサメサゾン経口投与は入院率を低下させるか？－無作為割付による前方視的検討－」

松下博亮、梶 俊策、山本倫子、
片山 威、杉本守治、藤本佳夫、
栄徳隆裕*

*岡山大学小児科

②⑤ 第34回日本小児栄養消化器肝臓学会 仙台市

平成19年10月

「IFN療法が奏功したと考えられたHBe抗体陽性B型慢性肝炎の一例」

梶 俊策、山本倫子、松下博亮、
片山 威、杉本守治、藤本佳夫

②⑥ 第17回小児心身症カリヨンセミナー

平成19年10月

- 「頻尿・尿漏れ感を訴える8歳女児例」
片山 威
- ②⑦ 小児初期救急医療研修セミナー（岡山県小児救急医療体制整備事業）
平成19年10月
①小児の蘇生（実習）
②小児救急のみかた（講義担当）：骨折・外傷（整形外科 高城康師）、頭部外傷（脳外科 小林和樹）、やけど・顔面外傷（形成外科 藤原一人）、新生児・乳児期早期のみかた（杉本守治）、感染症・発疹症・発熱・痙攣（片山威）、消化器疾患・成人と異なる薬物療法や検査結果・虐待の対応（梶俊策）、採血点滴や処置（坂手佐千子）、呼吸器疾患（松下博亮）、異物と中毒（山本倫子）
- ②⑧ 第59回中四国小児科学会 高松市
平成19年10月
「岡山県における日本脳炎のリスクー無菌性髄膜炎における日本脳炎ウイルスの関与ー」
梶 俊策、山本倫子、松下博亮、片山 威、杉本守治、藤本佳夫、栄徳隆裕*、寺田喜平**、荻田聡子**、高崎智彦***、倉根一郎***
*岡山大学小児科
**川崎医科大学小児科第一講座
***国立感染症研究所ウイルス第一部
- ②⑨ 第59回中四国小児科学会 高松市
平成19年10月
「急性腸炎罹患時に発症したhemorrhagic shock encephalopathyの一例」
山本倫子、松下博亮、片山 威、杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫
- ③⑩ 第3回日本摂食障害学会 京都
平成19年10月
「こころの問題を考える会ホームページの10年間のまとめ」
片山 威
- ③⑪ 第39回日本小児感染症学会 横浜市
平成19年11月
「水痘回復期に発症した劇症型溶連菌感染症の一例」
北本晃一、梶 俊策、山本倫子、松下博亮、片山 威、杉本守治、藤本佳夫
- ③⑫ 第39回日本小児感染症学会 横浜市
平成19年11月
「RSウイルス感染乳児へのデキサメサゾン経口投与は入院率を低下させるか？ー無作為割付による前方視的検討ー」
栄徳隆裕*、山本倫子、松下博亮、梶 俊策、片山 威、杉本守治、藤本佳夫
*岡山大学小児科
- ③⑬ 第52回日本未熟児新生児学会 さいたま市
平成19年11月
「新生児同種免疫性血小板減少症の1同胞例」
山本倫子、松下博亮、梶 俊策
- ③⑭ 第52回日本未熟児新生児学会 さいたま市
平成19年11月
「RSウイルス感染乳児へのデキサメサゾン経口投与は入院率を低下させるか？ー無作為割付による前方視的検討ー」
松下博亮、梶 俊策、山本倫子、

片山 威、杉本守治、藤本佳夫、
栄徳隆裕*

*岡山大学小児科

- ③⑤ 美作市養護教諭研修会 美作市
平成19年11月
「子どもが罹りやすい病気や事故とその対
処について」

梶 俊策

- ③⑥ 第80回日本小児科学会岡山地方会 倉敷
市
平成19年12月
「新生児同種免疫性血小板減少症の1同胞
例」
山本倫子、松下博亮、片山 威、
杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫

- ③⑦ 第80回日本小児科学会岡山地方会 倉敷
市
平成19年12月
「ミトコンドリア肝症を呈したミトコンド
リアDNA枯渇症候群の一兄弟例」
梶 俊策、松下博亮、山本倫子、
片山 威、杉本守治、藤本佳夫、
栄徳隆裕*
*岡山大学小児科

- ③⑧ 津山市立林田小学校保健委員会研修会
平成19年12月
「こどもの心の発達と健康」
梶 俊策

- ③⑨ 梶 俊策、山本倫子、栄徳隆裕、片山 威、
杉本守治、藤本佳夫、三好一外「急性回腸
末端炎と急性虫垂炎の鑑別」小児外科39
巻5号 Page537-542 (2007.05)

- ④⑩ 奥野啓介*、片山 威、杉本守治、梶 俊
策、藤本佳夫、神崎 晋**「フェニルアラ
ニン水酸化酵素遺伝子の変異が確認された
non PKU hyperphenylalaninemiaの一例」
小児科臨床60巻7号 Page1541-1546
(2007.07)

*鳥取大学周産期小児医学

**鳥取大学周産期小児医学

<皮 膚 科>

- ① 第240回日本皮膚科学会岡山地方会
平成19年1月
「外陰部に生じた若年性黄色肉芽腫の1例」
大澤徳哉、宮本 亨、徳岡晋太郎（形成外科）、
藤原一人（形成外科）、高田理恵（病理）、
足立孝司*
*鳥取大

- ② 第106回日本皮膚科学会総会
平成19年4月
「アポクリン癌～われわれの経験した4例
のまとめ～」
宮本 亨、足立孝司、井上禎規、
奥山典秀（形成外科）、山崎理恵（病理）

- ③ 第241回日本皮膚科学会岡山地方会
平成19年5月
「背部に生じた基底細胞癌の1例」
大澤徳哉、宮本 亨、
奥山典秀（形成外科）、笹岡龍次*
*笹岡皮膚科クリニック

- ④ 第242回日本皮膚科学会岡山地方会
平成19年9月
「初回手術より約11年後に皮膚転移をき
たした乳癌症例」
大西明美、宮本 亨、宮島孝直（外科）、

三宅孝佳（病理）

- ⑤ 日本皮膚科学会第114回 山陰・第10回
島根合同開催地方会
平成19年12月
「皮膚症状のみを呈したAIDSの1例」
大西明美、宮本 亨
- ⑥ Uchida T, Hayashi H, Inaoki M, Miyamoto
T, Fujimoto W 「A failure of mucocuta-
neous lymphangiogenesis may underlie
the clinical features of lipid proteinosis」
British Journal of Dermatology.
156:152-157, 2007
- ⑦ Adachi K, Miyamoto T, Yoshida Y,
Yamamoto O. 「Basal cell carcinoma with
an epidermal collarette」 Journal of Der-
matology. 34:844-845, 2007

<泌 尿 器 科>

- ① 第271回岡山地方会 岡山
平成19年2月
「平成18年津山中央病院泌尿器科手術統
計」
藤田 治
- ② 第272回岡山地方会 倉敷
平成19年5月
「Henoch-Schönlein紫斑病に合併した急
性陰嚢症の1例」
藤田 治
- ③ 第59回日本泌尿器科学会西日本総会 松
山
平成19年11月
「コイル塞栓術を行ったaneurysmal type

腎動静脈瘻」

中田哲也

- ④ 第21回日本Endourology-ESWL学会 東
京
平成19年11月
「腎盂癌にて後腹膜鏡下腎尿管全摘除術後
に後腹膜腔再発した1例」
藤田 治
- ⑤ 明比直樹「小径腎細胞癌に対するマイクロ
波凝固装置併用後腹膜鏡下腎部分切除術の
検討」津山中央病院医学雑誌 第21巻、
第1号、33 - 39

<脳神経外科>

- ① 第191回美作神経疾患研究会
平成19年5月
「急性水頭症の治療後に確認し得た前頭蓋
窩硬膜動静脈瘻の治療経験」
小林和樹、大同 茂、棟田耕二、
和仁孝夫
- ② 第193回美作神経疾患研究会
平成19年12月
「当院に於ける神経内視鏡の使用経験」
大同 茂、小林和樹、棟田耕二、
和仁孝夫
- ③ 小林和樹「最近の脳梗塞治療」津山市医師
会報、No500, 2月号、2007
- ④ 小林和樹「急性水頭症の治療後に確認し得
た前頭蓋窩硬膜動静脈瘻の治療経験」津山
市医師会報、No505, 7月号、2007

<救命救急科>

学会発表及び教育活動

- | ＜内 科＞ | 査結果」 |
|---|---|
| | 永瀬 亮 |
| ① 美作肝疾患研究会
平成19年1月
「尾状葉に存在するHCCに対する局所療法」
田中弘教 | ⑦ 岡山医師会生涯教育講座 ウイルス性肝炎
診療従事者研修会 津山
平成19年3月
「最新の肝炎ウイルス治療の現状 ～かかりつけ医との連携推進に向けて～」
田中弘教 |
| ② 美作肝疾患研究会
平成19年1月
「FNH（focal nodular hyperplasia：限局性結節性過形成）の3症例」
渡邊めぐみ、田中弘教 | ⑧ 高梁医師会学術講演会
平成19年4月
「PEGを用いた地域連携－岡山県北部の現状と今後」
平良明彦 |
| ③ 第22回日本静脈経腸栄養学会
平成19年2月
「胃瘻栄養患者におけるチアーパック入り半固形化栄養剤の注入方法の検討」
平良明彦 | ⑨ 第73回日本消化器病内視鏡学会総会
平成19年4月
「総胆管結石症例における内視鏡的胆道ステント留置術後の胆管炎長期再発に關与する因子の検討」
柘野浩史、友田 健、森藤由記、永原照也、西田知弘、藤本 剛、今川 敦、田中弘教、平良明彦、高畠弘行、藤木茂篤 |
| ④ 第16回日本消化器内視鏡学会四国セミナー
平成19年2月
「安全なPEG造設及びその管理」
平良明彦 | ⑩ 第93回日本消化器病学会
平成19年4月
「当科における下部消化管緊急内視鏡検査の検討」
藤本 剛、友田 健、森藤由紀、永原照也、西田知弘、今川 敦、田中弘教、平良明彦、柘野浩史、高畠弘行、藤木茂篤 |
| ⑤ 岡山医師会生涯教育講座 ウイルス性肝炎
診療従事者研修会 美作
平成19年2月
「最近のウイルス性肝炎治療の現状～専門医との連携の必要性～」
田中弘教 | |
| ⑥ 美作医会学術講演会（糖尿病神経障害）
平成19年3月
「津山中央病院糖尿病外来における実態調 | |

- ⑪ 第43回日本肝臓学会総会
平成19年5月
「当院における肝膿瘍57例の臨床的検討」
松下浩志、田中弘教、西田知弘、
柘野浩史、高畠弘行、藤木茂篤
- ⑫ 第43回日本肝臓学会総会
平成19年5月
「転移性肝癌に対するラジオ波熱凝固療法
の有用性」
能祖一裕、田中弘教など
- ⑬ 第73回日本消化器内視鏡学会
平成19年5月
「当院で経験した急性出血性直腸潰瘍23
症例の検討」
藤本 剛、太田 茂、杉原雄策、
森藤由記、友田 健、永原照也、
西田知弘、今川 敦、田中弘教、
平良明彦、柘野 浩史、高畠 弘行、
藤木茂篤
- ⑭ 第97回日本消化器病内視鏡学会中国地方会
平成19年5月
「治療法の選択に難渋した直腸 Follicular
Lymphoma の1例」
友田 健、森藤由記、永原照也、
西田知弘、藤本 剛、今川 敦、
田中弘教、平良明彦、柘野浩史、
高畠弘行、藤木茂篤
- ⑮ 第97回日本消化器病内視鏡学会中国地方会
平成19年5月
「内視鏡的乳頭バルーン拡張術後に摘出し
得た胆道内回虫完全迷入症の1例」
森藤由記、友田 健、永原照也、
西田知弘、藤本 剛、今川 敦、
田中弘教、平良明彦、柘野浩史、
- 高畠弘行、藤木茂篤
- ⑯ 第97回日本消化器病内視鏡学会中国地方会
平成19年5月
「ペパーミントオイル散布法による安全で
苦痛の少ない上部消化管内視鏡検査」
太田 茂、友田 健、森藤由記、
永原照也、西田知弘、藤本 剛、
今川 敦、田中弘教、平良明彦、
柘野浩史、高畠弘行、藤木茂篤
- ⑰ 第73回日本消化器内視鏡学会
平成19年5月
「当院での経皮内視鏡的胃瘻造設術（PEG）
420例の長期予後の検討」
平良明彦、柘野浩史、藤木茂篤
- ⑱ 第43回日本肝癌研究会
平成19年6月
「リピオドールマーキング法がラジオ波熱
凝固療法の効果判定に有用であった2症
例」
田中弘教、高畠弘行、西田知弘、
三好健司、藤木茂篤、小橋春彦
- ⑲ 第43回日本肝癌研究会
平成19年6月
「局所療法前後のAFPの予後に及ぼす影
響—cut off値別解析—」
能祖一裕、田中弘教など
- ⑳ 津山肝疾患ネットワーク
平成19年6月
「当院におけるインターフェロン少量長期
療法の成績」
西田知弘

- ②① 美作肝疾患研究会
平成19年7月
「RFAの効果判定におけるリピオドール
マーキング法の有用性」
田中弘教
- ②② 美作肝疾患研究会
平成19年7月
「超音波造影剤ソナゾイドの使用経験」
太田 茂、田中弘教
- ②③ 美作肝疾患研究会
平成19年7月
「肝膿瘍の治療効果に影響する因子の検討
(当院における肝膿瘍57例より)」
松下浩志、田中弘教
- ②④ 美作肝疾患研究会
平成19年7月
「肝癌の再発に寄与する因子」
三好健司
- ②⑤ 倉敷糖尿病治療フォーラム
平成19年7月
「インスリンアナログ混合製剤50/50の臨
床使用経験」
永瀬 亮
- ②⑥ 岡山県北部B型肝炎セミナー
平成19年7月
「当院におけるバラクルード錠の使用経験」
西田知弘
- ②⑦ 第9回鶴山消化器カンファレンス
平成19年7月
「当院におけるダブルバルーン小腸内視鏡
の使用経験」
藤本 剛、藤木茂篤、太田 茂、
友田 健、森藤由記、榊原一郎、
西田知弘、三好健司、今川 敦、
田中弘教、平良明彦、柘野浩史
- ②⑧ 岡山大学GIカンファレンス
平成19年7月
「当院での経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)
420例のアウトカムの検討」
平良明彦
- ②⑨ 第5回中日内視鏡・消化器学術交流会
平成19年9月
「PropofolとBISモニターを使用した早期
胃癌ESDにおける鎮静・周術期管理の工
夫 ～特に高齢者に対して～」
今川 敦
- ③⑩ 第12回HEQ研究会
平成19年9月
「超高齢者における経皮内視鏡的胃瘻造設
術(PEG)のアウトカム評価」
平良明彦、太田 茂、森藤由記、
友田 健、榊原一郎、今川 敦、
藤本 剛、柘野浩史、藤木茂篤
- ③⑪ JDDW 2007 Kobe パネルディスカッ
ション14 高齢社会の消化器スクリーニ
ングのあり方をめぐって
平成19年10月
「高齢のC型慢性肝炎患者に対する肝癌サ
ーベイランスの意義について(費用効果分
析による検討より)」
田中弘教、岩崎良章、Noriaki Aoki
- ③⑫ 日本糖尿病学会中国四国地方会第45回総
会(松山)
平成19年10月
「一過性の舞踏様運動を呈した緩徐進行1

型糖尿病の1例」

田中由希子、永瀬 亮、四方賢一

- ③③ 日本糖尿病学会中国四国地方会第45回総会（松山）

平成19年10月

「著明な低体温と乳酸アシドーシスを合併した高齢糖尿病の1例」

木下智香子、永瀬 亮、四方賢一

- ③④ JDDW2007

平成19年10月

「PropofolとBISモニターを使用した高齢者の早期胃癌ESDにおける鎮静・周術期管理の工夫」

今川 敦、平良明彦、藤木茂篤

- ③⑤ APDW2007

平成19年10月

「Appropriate management of bleeding using hemostatic forceps in Endoscopic Submucosal Dissection (ESD)」

Atsushi Imagawa*, Shigeatsu Fujiki, Yoshiro Kawahara**, Shigeru Ota*, Yuusaku Sugihara, Takeshi Tomoda, Yuki Morito, Teruya Nagahara, Ichiro Sakakihara, Tsuyoshi Fujimoto, Akihiko Taira, Hirofumi Tsugeno, Ryuta Takenaka***

- ③⑥ UEGW2007

平成19年10月

「Bispectral index monitoring of propofol sedation during Endoscopic Submucosal Dissection: A prospective, randomized study」

Atsushi Imagawa*, Shigeatsu Fujiki, Yoshiro Kawahara**, Shigeru Ota*,

Takeshi Tomoda, Yuki Morito,

Ichiro Sakakihara, Tsuyoshi Fujimoto, Akihiko Taira, Hirofumi Tsugeno, Ryuta Takenaka***

- ③⑦ UEGW2007

平成19年10月

「Selection of knife devices according to the situation for use in Endoscopic submucosal dissection」

Atsushi Imagawa*, Shigeatsu Fujiki, Yoshiro Kawahara**, Shigeru Ota*, Takeshi Tomoda, Yuki Morito, Ichiro Sakakihara, Tsuyoshi Fujimoto, Akihiko Taira, Hirofumi Tsugeno, Ryuta Takenaka***

- ③⑧ JDDW2007

平成19年10月

「総胆管結石に対する内視鏡的十二指腸乳頭切開術（EST）と内視鏡的胆道ステント留置術（EBD）との使い分け」

柘野浩史、平良明彦、藤木茂篤

- ③⑨ JDDW2007

平成19年10月

「PEGにおける造設医が果たすべき役割～バードジェニーシステム（PEGタイプII）によるPull法造設の使用経験を交えて～」

平良明彦

- ④⑩ 杉原雄策、今川 敦、太田 茂、友田 健、森藤由記、大森佐恵子、永原照也、西田知弘、永瀬 亮、藤本 剛、勝田知也、田中弘教、平良明彦、森山道彦、柘野浩史、高島弘行、藤木茂篤「当院で経験した胃アニサキス10例の臨床症状および内視鏡像の

検討」津山中央病院医学雑誌 第21巻
第1号 27-32 2007

- ④① 森藤由記、平良明彦、太田 茂、友田 健、
永原照也、今川 敦、藤本 剛、柘野浩史、
藤木茂篤「内視鏡的乳頭バルーン拡張術
(EPBD) 後に内視鏡的に摘出し得た胆道
内回虫完全迷入症の1例」津山中央病院医
学雑誌 第21巻 第1号 93-97 2007

- ④② 太田 茂、今川 敦、杉原雄策、友田 健、
森藤由記、大森佐恵子、永原照也、西田知
弘、永瀬 亮、藤本 剛、勝田知也、田中
弘教、平良明彦、森山道彦、柘野浩史、高
畠弘行、藤木茂篤「腹膜透析中に発症し
^{99m}Tc-HASにより心膜腔と交通を証明でき
た極めて稀な横隔膜交通症の一例」津山
中央病院医学雑誌 第21巻 第1号 99-103
2007

- ④③ Tsuyoshi Fujimoto, Jun Kato, Junichirou
Nasu, Motoaki Kuriyama, Hiroyuki
Okada, Hiroshi Yamamoto, Motowo
Mizuno and Yasushi Shiratori「Change of
Clinical Characteristics of Ulcerative
Colitis in Japan; Analysis of 844 Hospital
Based Patients from 1981 to 2000」
European Journal Gastroenterology and
Hepatology Vol.19 229-235 2007

- ④④ 平良明彦「PEG 後合併症予防への取り組
み」カンガルーニュース Vol.9 1-3
2007

<循環器>

- ① 美作医会
平成19年1月

「Different Effects of Atorvastatin and
Pravastatin on HbA1c in Hyperlipidemia
Patients with Initially Normal HbA1c
～スタチンの糖代謝に及ぼす影響について
～」

小松原一正

- ② 第54回冠動脈造影研究会

平成19年3月

「BMS留置後、長期経過後に仮性冠動脈
瘤を形成し、SES留置にて改善した1例」

小松原一正

- ③ 第4回せとうち心臓血管外科セミナー

平成19年4月

「PCI Uptodate」

小松原一正

- ④ 美作心臓血管カンファレンス

平成19年4月

「心不全」

小松原一正

- ⑤ 第90回日本循環器学会 中国・四国合同
地方会 松山

平成19年6月

「CTガイド下肺生検施行後、空気塞栓に
よる急性心筋梗塞を発症した一例」

清藤哲司

- ⑥ 第90回日本循環器学会 中国・四国合同
地方会 松山

平成19年6月

「左前下行枝、右冠動脈にCypher stent
留置後、同時に亜急性血栓閉塞を認めた一
例」

尾上 豪

- ⑦ AHA
平成19年11月
「Presentation Title: Hydrogen Peroxide Plays a Crucial Role in Coronary Microvascular Vasodilation with Increased Oxidative Stress in Right Ventricles of Pulmonary Hypertensive Rats」
梶谷昌史
- ⑧ 第91回 日本循環器学会中国地方会
平成19年12月
「肺高血圧ラット右室冠毛細管における赤血球ヘモダイナミクスの変化」
梶谷昌史
- ⑨ 第91回 日本循環器学会中国地方会
平成19年12月
「重症大動脈弁狭窄症に合併した血栓塞栓による急性心筋梗塞の一例」
小松原一正
- ③ 第162回岡山外科会 倉敷
平成19年2月
「仙骨前面に発生したMyelolipomaの1例」
中山晴輝、渡邊めぐみ、衛藤弘城、河合 毅、横道直祐、母里淑子、松本朝子、松村年久、野中泰幸、林 同輔、宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦
- ④ 第162回岡山外科会 倉敷
平成19年2月
「胸腔内結腸嵌頓を来した外傷性遅発性横隔膜破裂の1例」
久保田暢人、渡邊めぐみ、衛藤弘城、中山晴輝、河合 毅、横道直祐、滝内宏樹、母里淑子、松本朝子、松村年久、野中泰幸、林 同輔、宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦

<外科・心臓血管外科>

- ① 第16回岡山心臓血管外科手術手技研究会
岡山
平成19年1月
「Mid-aortic syndromeに対する血行再建術の経験」
松本三明、末廣晃太郎、久保裕司
- ② 第162回岡山外科会 倉敷
平成19年2月
「術前診断が困難であったIPNL（肝内胆管内乳頭粘液性腫瘍）の1例」
渡邊めぐみ、衛藤弘城、久保田暢人、中山晴輝、河合 毅、横道直祐、滝内宏樹、母里淑子、松本朝子、
- ⑤ 第4回せとうち心臓血管外科セミナー 岡山
平成19年4月
「左前下行枝、右冠動脈にCypher Stent留置後、同時に亜急性血栓閉塞を認めた1例」
尾上 豪、小松原一正、俣野 茂、清藤哲司、河野康之、松本三明、末廣晃太郎、松本朝子
- ⑥ 第35回血管外科学会学術総会 名古屋
平成19年5月
「Mid-Aortic Syndromeに対する血行再建術（ビデオセッション）」
松本三明、末廣晃太郎、久保裕司

- ⑦ 第163回岡山外科会 岡山
平成19年6月
「胃癌術前のCT検査にてfree airを認めた腸管囊腫様気腫症の1例」
大森敏規、松村年久、片山裕子、前山博輝、中山晴輝、河合 毅、滝内宏樹、母里淑子、松本朝子、野中泰幸、藤原拓造、林 同輔、宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦
平成19年6月
「末期癌患者の消化管閉塞に伴う消化器症状に対するoctreotideの効果」
母里淑子、野中泰幸、徳田直彦
- ⑧ 第163回岡山外科会 岡山
平成19年6月
「腸重積症にて発症した回腸Inflammatory fibroid polypの1例」
片山裕子、野中泰幸、大森敏規、前山博輝、渡邊めぐみ、中山晴輝、河合 毅、滝内宏樹、母里淑子、松本朝子、松村年久、藤原拓造、林 同輔、宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦、三宅孝佳
- ⑨ 第163回岡山外科会 岡山
平成19年6月
「広範囲壊死性筋膜炎の1例」
前山博輝、藤原拓造、片山裕子、大森敏規、中山晴輝、河合 毅、滝内宏樹、母里淑子、松本朝子、松村年久、野中泰幸、林 同輔、宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦
- ⑩ 第90回日本循環器学会中国四国地方会 松山
平成19年6月
「院外心肺停止後蘇生患者に対する緊急CABG2例の経験」
松本三明、末廣晃太郎、久保陽司
- ⑪ 第12回日本緩和医療学会総会 岡山
平成19年6月
「癌末期患者におけるPCAポンプの有効性」
西崎文祥、近藤祥代、藤本 剛、野中泰幸、徳田直彦
- ⑫ 第12回日本緩和医療学会総会 岡山
平成19年6月
「癌末期患者におけるPCAポンプの有効性」
西崎文祥、近藤祥代、藤本 剛、野中泰幸、徳田直彦
- ⑬ 第38回日本血管外科学会中国四国地方会 三原
平成19年7月
「膝窩動脈外膜嚢胞の1例」
久保陽司、末廣晃太郎、松本三明
- ⑭ 第38回日本血管外科学会中国四国地方会 三原
平成19年7月
「Distafloを用いた大腿一下腿動脈バイパスの早期成績」
末廣晃太郎、久保陽司、松本三明
- ⑮ 第3回岡山県北臓器障害フォーラム 症例検討会 津山
平成19年9月
「著明な肝酵素上昇をきたしたショック肝の1救命例」
渡邊めぐみ、林 同輔、中山晴輝、河合 毅、滝内宏樹、松本朝子、松村年久、野中泰幸、藤原拓造、宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦
- ⑯ 第3回岡山県北臓器障害フォーラム 症例検討会 津山
平成19年9月

- 「当院で経験した壊死性筋膜炎の3症例」
 中山晴輝、河合 毅、藤原拓造、
 渡邊めぐみ、滝内宏樹、松本朝子、
 松村年久、野中泰幸、林 同輔、
 宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦
- ①⑦ 第73回岡山大学第1外科教室開講記念会
 岡山
 平成19年10月
 「当院における下部消化管穿孔の検討」
 河合 毅、藤原拓造、松本朝子、
 松村年久、野中泰幸、林 同輔、
 宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦
- ①⑧ 緩和ケアチームについてのシンポジウム
 平成19年11月
 「当院における緩和医療委員会の取り組み
 と課題」
 野中泰幸
- ①⑨ 第69回日本臨床外科学会総会 横浜
 平成19年11月
 「当院における80歳以上の高齢者肺癌に
 対する手術症例の検討」
 渡邊めぐみ、林 同輔、松本朝子、
 松村年久、野中泰幸、藤原拓造、
 黒瀬通弘、徳田直彦
- ②⑩ 第69回日本臨床外科学会総会 横浜
 平成19年11月
 「大量咯血を伴った外傷性肺内血腫・肺挫
 傷の1救命例」
 松本朝子、松村年久、野中泰幸、
 藤原拓造、林 同輔、黒瀬通弘、
 徳田直彦
- ②⑪ 第69回日本臨床外科学会総会 横浜
 平成19年11月
- 「胸腔鏡下に切除した食道壁内前腸嚢胞の
 1例」
 林 同輔、渡邊めぐみ、滝内宏樹、
 松本朝子、松村年久、野中泰幸、
 藤原拓造、黒瀬通弘、徳田直彦
- ②② 第69回日本臨床外科学会総会 横浜
 平成19年12月
 「腸重積にて発症した回腸 Inflammatory
 fibroid polyp (IFP) の2例」
 滝内宏樹、野中泰幸、渡邊めぐみ、
 松本朝子、松村年久、藤原拓造、
 林 同輔、黒瀬通弘、徳田直彦
- ②③ 第91回日本循環器学会中国地方会 米子
 平成19年12月
 「95歳女性急性冠症候群に対する緊急冠
 動脈バイパス術」
 末廣晃太郎、久保陽司、松本三明、
 小松原一正
- ②④ 第91回日本循環器学会中国地方会 米子
 平成19年12月
 「診断に難渋した胸部下行大動脈瘤肺内破
 裂の1手術例」
 久保陽司、末廣晃太郎、松本三明
- ②⑤ 横道直祐、林 同輔、中山晴輝、河合 毅、
 母里淑子、松本朝子、松村年久、野中泰幸、
 宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦「門脈ガス
 血症を呈した2例」津山中央病院医学雑誌
 21 81-86 2007
- ②⑥ 久保田暢人、松本朝子、渡邊めぐみ、衛藤
 弘城、中山晴輝、河合 毅、横道直祐、滝
 内宏樹、母里淑子、松村年久、野中泰幸、
 林 同輔、宮島孝直、黒瀬通弘、徳田直彦
 「胸腔内結腸嵌頓を来した遅発性外傷性横

隔膜ヘルニアの1例」津山中央病院医学雑誌 21 87-92 2007

- ②⑦ Matsumoto M, Suehiro K and Kubo H
「Clot formation between the folded graft layers in the reversed elephant trunk technique at the second stage of total arch replacement」 General Thoracic and Cardiovascular Surgery 55 (1) 23-25 2007

- ②⑧ 松本三明、末廣晃太郎、久保裕司、津島義正、吉鷹秀範、杭ノ瀬昌彦、南 一司、物部泰昌「心タンポナーデをきたした巨大脂肪肉腫心臓転移の1例」胸部外科 60 (1) 65-68 2007

- ②⑨ 松本三明、末廣晃太郎、久保裕司、森本直樹、白石建輔、笠井慎也、萩岡信吾、内藤宏道、長江正晴「院外心肺停止後蘇生患者に対する緊急CABG」胸部外科 60 (2) 97-101 2007

- ③⑩ 松本三明、末廣晃太郎、久保裕司「診断に難渋した胸部下行大動脈瘤肺内破裂の1例」胸部外科 60 (10) 932-934 2007

<形 成 外 科>

- ① 第53回日本形成外科学会中国・四国支部学術集会 岡山
平成19年2月
「悪性腫瘍様外観を呈した足底腫瘍の1例」
徳岡晋太郎、藤原一人、奥山典秀他

<小 児 科>

- ① 第21回岡山新生児研究会 岡山市

平成19年1月

「帝王切開で出生した児のクリニカルパスの検討」

保田 司、野倉由紀香、藤本幸子、
立石由香、坂手佐千子、山本倫子、
栄徳隆裕、松下博亮、片山 威、
杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫

- ② 真庭市子育て講演会 真庭市

平成19年2月

「子どもがかかりやすい病気やけがとその対処について」

梶 俊策

- ③ 第76回岡山小児てんかん懇話会

平成19年2月

「発症時、画像所見に乏しかった急性散在性脳脊髄炎の一例」

松下博亮、山本倫子、栄徳隆裕、
片山 威、杉本守治、梶 俊策、
藤本佳夫

- ④ 作陽保育園子育て講演会

平成19年2月

「子どもがかかりやすい病気やけがとその対処について」

杉本守治

- ⑤ 第79回山陰小児科学会 松江市

平成19年4月

「当科で経験した腸間膜リンパ節炎の臨床的検討」

松下博亮、山本倫子、片山 威、
杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫

- ⑥ 第110回日本小児科学会総会 京都

平成19年4月

「低出生体重にて出生し、成長ホルモン分

泌不全を伴ったクラインフェルター症候群
の一例」

杉本守治、栄徳隆裕、松下博亮、
片山 威、梶 俊策、藤本佳夫

⑦ 第7回子供健康教室 院内

平成19年5月

「急いでかかるべき子どもの病気」

梶 俊策

⑧ 第174回津山小児科医会

平成19年5月

「当科における成長障害児の現状」

杉本守治

⑨ 第15回日本小児心身医学会中国四国地方
会 松山市

平成19年5月

「小児科外来における知能検査の意義」

片山 威、山本倫子、松下博亮、
杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫、
笠置綱清*

*YMCA 米子医療福祉専門学校

⑩ 第61回日本小児科学会鳥取地方会 米子
市

平成19年6月

「化膿性髄膜炎に併発し保存的加療により
改善した硬膜下膿瘍の2例」

松下博亮、山本倫子、片山 威、
杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫

⑪ 第61回日本小児科学会鳥取地方会 米子
市

平成19年6月

「小児心身症に対するWISC-Ⅲ知能検査の
意義」

片山 威、山本倫子、松下博亮、

杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫、
笠置綱清*

*YMCA 米子医療福祉専門学校

⑫ 第61回日本小児科学会鳥取地方会 米子
市

平成19年6月

「昨年経験した日本脳炎ウイルスによる無
菌性髄膜炎の2例」

梶 俊策、片山 威、山本倫子、
松下博亮、杉本守治、藤本佳夫

⑬ 第15回岡山小児心身症研究会 岡山市
平成19年7月

「症状へのこだわりの強い児に小児科医は
どうかかわるのがよいのか」

片山 威、山本倫子、松下博亮、
杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫、
笠置綱清*

*YMCA 米子医療福祉専門学校

⑭ 津山市立中道中学校 PTA 子ども健康教
室

平成19年7月

「思春期の体と心の成長」

梶 俊策

⑮ 第3回中国四国思春期学会 米子市
平成19年7月

「こころの問題を考える会ホームページの
10年間のまとめ」

片山 威、山本倫子、松下博亮、
杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫、
笠置綱清*

*YMCA 米子医療福祉専門学校

⑯ 第24回日本小児肝臓研究会 東京
平成19年7月

「乳児期肝内胆汁うっ滞・肝脂肪変性・筋力低下・成長障害を呈し、診断に苦慮している一兄弟例」

梶 俊策、山本倫子、松下博亮、
片山 威、杉本守治、藤本佳夫

①⑦ 第8回 子供健康教室 院内

平成19年7月

「こどもの成長と生活習慣について」

杉本守治

①⑧ 希望ヶ丘ホスピタルこどもセンター ohana 会

平成19年7月

「津山中央病院での心身症に対するとりくみと地域連携への提言（院内学級の活動紹介等）」

片山 威

①⑨ 子育てセミナーキャラバン隊 in 美作 セミナー

平成19年8月

「みんなで考えよう、子育て支援」

梶 俊策

②⑩ 岡山新生児感染症フォーラム

平成19年8月

「呼吸障害・関節拘縮・病的骨折・低Ca血症・多発奇形・低筋緊張にて新生児期に死亡した一例」

杉本守治、倉信裕樹*、山本倫子、
松下博亮、片山 威、梶 俊策、
藤本佳夫

*現鳥取県立中央病院

②⑪ 第25回日本小児心身医学会 北海道

平成19年9月

「当院で入院加療した食行動異常11例の

臨床的検討」

片山 威、山本倫子、松下博亮、
杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫、
笠置綱清*

*YMCA 米子医療福祉専門学校

②⑫ 山陽新聞社子育て応援イベント「おぎゃつと21 in 津山」

平成19年9月

「急いでかかるべき子どもの病気」

梶 俊策

②⑬ 津山市立東中学校保健研修会

平成19年9月

「早寝早起き朝ご飯と子どものメタボリック症候群」

梶 俊策

②⑭ 第80回山陰小児科学会 米子市

平成19年9月

「RSウイルス感染乳児へのデキサメサゾン経口投与は入院率を低下させるか？－無作為割付による前方視的検討－」

松下博亮、梶 俊策、山本倫子、
片山 威、杉本守治、藤本佳夫、
栄徳隆裕*

*岡山大学小児科

②⑮ 第34回日本小児栄養消化器肝臓学会 仙台市

平成19年10月

「IFN療法が奏功したと考えられたHBe抗体陽性B型慢性肝炎の一例」

梶 俊策、山本倫子、松下博亮、
片山 威、杉本守治、藤本佳夫

②⑯ 第17回小児心身症カリヨンセミナー

平成19年10月

- 「頻尿・尿漏れ感を訴える8歳女兒例」
片山 威
- ②⑦ 小児初期救急医療研修セミナー（岡山県小児救急医療体制整備事業）
平成19年10月
①小児の蘇生（実習）
②小児救急のみかた（講義担当）：骨折・外傷（整形外科 高城康師）、頭部外傷（脳外科 小林和樹）、やけど・顔面外傷（形成外科 藤原一人）、新生児・乳児期早期のみかた（杉本守治）、感染症・発疹症・発熱・痙攣（片山威）、消化器疾患・成人と異なる薬物療法や検査結果・虐待の対応（梶俊策）、採血点滴や処置（坂手佐千子）、呼吸器疾患（松下博亮）、異物と中毒（山本倫子）
- ②⑧ 第59回中四国小児科学会 高松市
平成19年10月
「岡山県における日本脳炎のリスクー無菌性髄膜炎における日本脳炎ウイルスの関与ー」
梶 俊策、山本倫子、松下博亮、片山 威、杉本守治、藤本佳夫、栄徳隆裕*、寺田喜平**、荻田聡子**、高崎智彦***、倉根一郎***
*岡山大学小児科
**川崎医科大学小児科第一講座
***国立感染症研究所ウイルス第一部
- ②⑨ 第59回中四国小児科学会 高松市
平成19年10月
「急性腸炎罹患時に発症したhemorrhagic shock encephalopathyの一例」
山本倫子、松下博亮、片山 威、杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫
- ③⑩ 第3回日本摂食障害学会 京都
平成19年10月
「こころの問題を考える会ホームページの10年間のまとめ」
片山 威
- ③⑪ 第39回日本小児感染症学会 横浜市
平成19年11月
「水痘回復期に発症した劇症型溶連菌感染症の一例」
北本晃一、梶 俊策、山本倫子、松下博亮、片山 威、杉本守治、藤本佳夫
- ③⑫ 第39回日本小児感染症学会 横浜市
平成19年11月
「RSウイルス感染乳児へのデキサメサゾン経口投与は入院率を低下させるか？ー無作為割付による前方視的検討ー」
栄徳隆裕*、山本倫子、松下博亮、梶 俊策、片山 威、杉本守治、藤本佳夫
*岡山大学小児科
- ③⑬ 第52回日本未熟児新生児学会 さいたま市
平成19年11月
「新生児同種免疫性血小板減少症の1同胞例」
山本倫子、松下博亮、梶 俊策
- ③⑭ 第52回日本未熟児新生児学会 さいたま市
平成19年11月
「RSウイルス感染乳児へのデキサメサゾン経口投与は入院率を低下させるか？ー無作為割付による前方視的検討ー」
松下博亮、梶 俊策、山本倫子、

片山 威、杉本守治、藤本佳夫、
栄徳隆裕*

*岡山大学小児科

- ③⑤ 美作市養護教諭研修会 美作市
平成19年11月
「子どもが罹りやすい病気や事故とその対処について」

梶 俊策

- ③⑥ 第80回日本小児科学会岡山地方会 倉敷市
平成19年12月
「新生児同種免疫性血小板減少症の1同胞例」
山本倫子、松下博亮、片山 威、
杉本守治、梶 俊策、藤本佳夫

- ③⑦ 第80回日本小児科学会岡山地方会 倉敷市
平成19年12月
「ミトコンドリア肝症を呈したミトコンドリアDNA枯渇症候群の一兄弟例」
梶 俊策、松下博亮、山本倫子、
片山 威、杉本守治、藤本佳夫、
栄徳隆裕*
*岡山大学小児科

- ③⑧ 津山市立林田小学校保健委員会研修会
平成19年12月
「こどもの心の発達と健康」
梶 俊策

- ③⑨ 梶 俊策、山本倫子、栄徳隆裕、片山 威、
杉本守治、藤本佳夫、三好一外「急性回腸末端炎と急性虫垂炎の鑑別」小児外科39
巻5号 Page537-542 (2007.05)

- ④⑩ 奥野啓介*、片山 威、杉本守治、梶 俊策、
藤本佳夫、神崎 晋**「フェニルアラニン水酸化酵素遺伝子の変異が確認されたnon PKU hyperphenylalaninemiaの一例」
小児科臨床60巻7号 Page1541-1546
(2007.07)

*鳥取大学周産期小児医学

**鳥取大学周産期小児医学

<皮 膚 科>

- ① 第240回日本皮膚科学会岡山地方会
平成19年1月
「外陰部に生じた若年性黄色肉芽腫の1例」
大澤徳哉、宮本 亨、徳岡晋太郎（形成外科）、
藤原一人（形成外科）、高田理恵（病理）、
足立孝司*
*鳥取大

- ② 第106回日本皮膚科学会総会
平成19年4月
「アポクリン癌～われわれの経験した4例のまとめ～」
宮本 亨、足立孝司、井上禎規、
奥山典秀（形成外科）、山崎理恵（病理）

- ③ 第241回日本皮膚科学会岡山地方会
平成19年5月
「背部に生じた基底細胞癌の1例」
大澤徳哉、宮本 亨、
奥山典秀（形成外科）、笹岡龍次*
*笹岡皮膚科クリニック

- ④ 第242回日本皮膚科学会岡山地方会
平成19年9月
「初回手術より約11年後に皮膚転移をきたした乳癌症例」
大西明美、宮本 亨、宮島孝直（外科）、

三宅孝佳（病理）

- ⑤ 日本皮膚科学会第114回 山陰・第10回
島根合同開催地方会
平成19年12月
「皮膚症状のみを呈したAIDSの1例」
大西明美、宮本 亨

- ⑥ Uchida T, Hayashi H, Inaoki M, Miyamoto
T, Fujimoto W 「A failure of mucocuta-
neous lymphangiogenesis may underlie
the clinical features of lipoid proteinosis」
British Journal of Dermatology.
156:152-157, 2007

- ⑦ Adachi K, Miyamoto T, Yoshida Y,
Yamamoto O. 「Basal cell carcinoma with
an epidermal collarette」 Journal of Der-
matology. 34:844-845, 2007

<泌尿器科>

- ① 第271回岡山地方会 岡山
平成19年2月
「平成18年津山中央病院泌尿器科手術統
計」
藤田 治

- ② 第272回岡山地方会 倉敷
平成19年5月
「Henoch-Schönlein紫斑病に合併した急
性陰嚢症の1例」
藤田 治

- ③ 第59回日本泌尿器科学会西日本総会 松
山
平成19年11月
「コイル塞栓術を行ったaneurysmal type

腎動静脈瘻」

中田哲也

- ④ 第21回日本Endourology-ESWL学会 東
京
平成19年11月
「腎盂癌にて後腹膜鏡下腎尿管全摘除術後
に後腹膜腔再発した1例」

藤田 治

- ⑤ 明比直樹「小径腎細胞癌に対するマイクロ
波凝固装置併用後腹膜鏡下腎部分切除術の
検討」津山中央病院医学雑誌 第21巻、
第1号、33 - 39

<脳神経外科>

- ① 第191回美作神経疾患研究会
平成19年5月
「急性水頭症の治療後に確認し得た前頭蓋
窩硬膜動静脈瘻の治療経験」

小林和樹、大同 茂、棟田耕二、
和仁孝夫

- ② 第193回美作神経疾患研究会
平成19年12月
「当院に於ける神経内視鏡の使用経験」
大同 茂、小林和樹、棟田耕二、
和仁孝夫

- ③ 小林和樹「最近の脳梗塞治療」津山市医師
会報、No500, 2月号、2007

- ④ 小林和樹「急性水頭症の治療後に確認し得
た前頭蓋窩硬膜動静脈瘻の治療経験」津山
市医師会報、No505, 7月号、2007

<救命救急科>

- ① 第24回日本集中治療学会中国・四国地方
会 広島

平成19年1月

「血清CPKが異常高値を示した悪性症候
群の1例」

内藤宏道、長江正晴、笠井慎也、
萩岡信吾、白石建輔、森本直樹、
杉山雅俊

- ② 第24回日本集中治療学会中国・四国地方
会 広島

平成19年1月

「軽度低体温療法後、良好な経過を呈した
心肺停止蘇生後3症例の検討」

木下智香子、白石建輔、北本晃一、
長江正晴、内藤宏道、笠井慎也、
萩岡信吾、森本直樹、杉山雅俊

- ③ 第24回日本集中治療学会中国・四国地方
会 広島

平成19年1月

「病院外心停止で蘇生に成功しICUに収容
された48症例の検討」

森本直樹、長江正晴、内藤宏道、
笠井慎也、萩岡信吾、白石建輔、
杉山雅俊

- ④ 第24回日本集中治療学会中国・四国地方
会 広島

平成19年1月

「熱中症を誘因としてAMIを発症した1
症例」

北本晃一、木下智香子、内藤宏道、
長江正晴、笠井慎也、萩岡信吾、
白石建輔、森本直樹、杉山雅俊

- ⑤ 第24回日本集中治療学会中国・四国地方

会 広島

平成19年1月

「ICUで破傷風として経過観察中に突然の
大痙攣と心停止に陥った一例」

衛藤弘城、内藤宏道、長江正晴、
笠井慎也、萩岡信吾、白石建輔、
森本直樹

- ⑥ 第34回日本集中治療医学会学術集会 神
戸

平成19年3月

「重症横紋筋融解症をきたしたマムシ咬傷
の1例」

内藤宏道、長江正晴、笠井慎也、
萩岡信吾、白石建輔、森本直樹、
杉山雅俊

- ⑦ 第34回日本集中治療医学会学術集会 神
戸

平成19年3月

「低血糖による意識障害で発見された非典
型的な恙虫病の1症例」

吉本 尚、内藤宏道、長江正晴、
笠井慎也、萩岡信吾、白石建輔、
森本直樹、杉山雅俊

- ⑧ 第10回日本臨床救急医学会総会・学術集
会 神戸

平成19年5月

「持続血液透析が有効であった重症リチウ
ム中毒の一例」

笠井慎也、長江正晴、内藤宏道、
萩岡信吾、白石建輔、森本直樹、
杉山雅俊

- ⑨ 第10回日本臨床救急医学会総会・学術集
会 神戸

平成19年5月

- ① 第24回日本集中治療学会中国・四国地方
会 広島

平成19年1月

「血清CPKが異常高値を示した悪性症候
群の1例」

内藤宏道、長江正晴、笠井慎也、
萩岡信吾、白石建輔、森本直樹、
杉山雅俊

- ② 第24回日本集中治療学会中国・四国地方
会 広島

平成19年1月

「軽度低体温療法後、良好な経過を呈した
心肺停止蘇生後3症例の検討」

木下智香子、白石建輔、北本晃一、
長江正晴、内藤宏道、笠井慎也、
萩岡信吾、森本直樹、杉山雅俊

- ③ 第24回日本集中治療学会中国・四国地方
会 広島

平成19年1月

「病院外心停止で蘇生に成功しICUに収容
された48症例の検討」

森本直樹、長江正晴、内藤宏道、
笠井慎也、萩岡信吾、白石建輔、
杉山雅俊

- ④ 第24回日本集中治療学会中国・四国地方
会 広島

平成19年1月

「熱中症を誘因としてAMIを発症した1
症例」

北本晃一、木下智香子、内藤宏道、
長江正晴、笠井慎也、萩岡信吾、
白石建輔、森本直樹、杉山雅俊

- ⑤ 第24回日本集中治療学会中国・四国地方

会 広島

平成19年1月

「ICUで破傷風として経過観察中に突然の
大痙攣と心停止に陥った一例」

衛藤弘城、内藤宏道、長江正晴、
笠井慎也、萩岡信吾、白石建輔、
森本直樹

- ⑥ 第34回日本集中治療医学会学術集会 神
戸

平成19年3月

「重症横紋筋融解症をきたしたマムシ咬傷
の1例」

内藤宏道、長江正晴、笠井慎也、
萩岡信吾、白石建輔、森本直樹、
杉山雅俊

- ⑦ 第34回日本集中治療医学会学術集会 神
戸

平成19年3月

「低血糖による意識障害で発見された非典
型的な恙虫病の1症例」

吉本 尚、内藤宏道、長江正晴、
笠井慎也、萩岡信吾、白石建輔、
森本直樹、杉山雅俊

- ⑧ 第10回日本臨床救急医学会総会・学術集
会 神戸

平成19年5月

「持続血液透析が有効であった重症リチウ
ム中毒の一例」

笠井慎也、長江正晴、内藤宏道、
萩岡信吾、白石建輔、森本直樹、
杉山雅俊

- ⑨ 第10回日本臨床救急医学会総会・学術集
会 神戸

平成19年5月

「コルヒチン含有植物、グロリオサによる中毒例」

内藤宏道、長江正晴、笠井慎也、
萩岡信吾、白石建輔、森本直樹、
杉山雅俊

⑩ 第54回日本麻酔科学会学術集会・総会
札幌

平成19年5月～6月

「術中プロタミンショックに陥った腹部大動脈瘤の一例」

長江正晴、内藤宏道、笠井慎也、
白石建輔、森本直樹、杉山雅俊

⑪ 第54回日本麻酔科学会学術集会・総会
札幌

平成19年5月～6月

「当院における救急救命士による気管挿管実習」

白石建輔、森本直樹、長江正晴、
笠井慎也、萩岡信吾、杉山雅俊

⑫ 2007いわみ外傷セミナー 島根

平成19年8月

「当院に搬送され、脊椎・脊髄損傷と診断された12例の検討」

内藤宏道、長江正晴、笠井慎也、
萩岡信吾、白石建輔、森本直樹

⑬ 第35回日本救急医学会総会・学術集会
大阪

平成19年10月

「肺生検中の空気塞栓症による心停止に対しPCPSを使用し救命した1症例」

内藤宏道、萩岡信吾、長江正晴、
笠井慎也、白石建輔、森本直樹、
杉山雅俊

⑭ 内藤宏道、松本和幸、長江正晴、笠井慎也、
白石建輔、森本直樹、萩岡信吾、杉山雅俊
「マムシ咬傷48例の検討 初診時の腫脹の
程度は重症度を反映するか」中毒研究、
(0914-3777) 20巻1号 Page31-35 (2007.01)

⑮ 内藤宏道、長江正晴、笠井慎也、白石建輔、
森本直樹、萩岡信吾、杉山雅俊「マムシ咬
傷 抗毒素の使用施設の立場から」中毒研
究、(0914-3777) 20巻3号 Page217-221
(2007.07)

<産婦人科>

① 16th Annual Congress of International
Society for Gynecologic Endoscopy 大阪
平成19年3月

「A case report of fetiform teratoma
(homunculus) removed laparoscopically」
河原義文、楠本知行

② 16th Annual Congress of International
Society for Gynecologic Endoscopy 大阪
平成19年3月

「A case report: intraligamentary tumor,
which successfully removed laparoscopic-
ally」
楠本知行、河原義文

③ 第76回岡山大学産科婦人科同門会 岡山市

平成19年6月

「帝王切開創部に発生した腹壁子宮内膜症の一例」

河原義文、楠本知行

④ 第42回日本婦人科腫瘍学会 東京都
平成19年6月

- 「F D G - P E T が診断に有用であった上
皮性悪性卵巣腫瘍脾臓転移の一例」
楠本知行、河原義文
- ⑤ J S A W I 2007（第8回シンポジウム）
淡路島
平成19年9月
「P E T - C T が治療方針決定に有用であ
った婦人科悪性腫瘍の2症例」
楠本知行、河原義文
- ⑥ 第60回日本産科婦人科学会中国四国合同
地方部会 広島市
平成19年9月
「腹腔鏡にて診断し得た卵管捻転の4例」
楠本知行、河原義文
- ⑦ 第48回 日本母性衛生学会 つくば市
平成19年10月
「膿疱性乾癬再燃合併妊婦への看護の一考
察」
萩原香織、山本加奈子、池上香織、
片山恵理子、楠本知行、河原義文
- ⑧（講演）岡山県臨床検査技師会真庭・美作
学術講演会 津山市
平成19年9月
「更年期障害と女性ホルモン」
河原義文
- ⑨ 第32回日本産科婦人科学会岡山地方部会
学術集会 岡山市
平成19年11月
「腹腔鏡が診断・治療に有用であった、腹
痛を主訴とする6症例」
河原義文、楠本知行
- ⑩（パネルディスカッション）第20回日本
内視鏡外科学会 仙台市
平成19年11月
「腹痛を主訴に救急外来受診、腹腔鏡が診
断・治療に有用であった6症例」
楠本知行、河原義文
- ⑪（講演）住友別子病院院内研修 第6回医
療安全管理講演研修会 新居浜市
平成19年11月
「当院における医療安全の取り組みと課題
について」
河原義文
- ⑫ 第24回岡山県母性衛生学会学術集会 岡
山市
平成19年12月
「当院における母乳外来（母親の声を聴い
て）—立ち上げから1年の報告—」
山本加奈子、小山末子、藤本悦子、
西みゆき、榎本伊津子、新免陽子、
楠本知行、河原義文
- ⑬（シンポジウム）第24回岡山県母性衛生
学会学術集会 岡山市
平成19年12月
「『どうする？岡山のお産』県北のネット
ワークの現状」
河原義文、楠本知行
- ⑭ 山本倫子、楠本知行、河原義文、足立孝司、
宮本 亨「妊娠を契機に再燃を認めた膿疱
性乾癬の1例」津山中央病院医学雑誌 第
21巻1号 121-124頁 2007年
- ⑮ 小山末子、藤本悦子、西みゆき、新免陽子、
楠本知行、河原義文、梶 俊策、近藤祥代、
安東洋子「当院における母乳外来 立ち上
げから1年の経過報告」津山中央病院医学

雑誌 第21巻 63-68頁 2007年

<整 形 外 科>

① 第37回日本人工関節学会

平成19年2月

「Mayo conservative hipの短期成績」

壺内 貢、門田弘明、福田祥二、
多胡典郎、高城康師、小浦 宏*

*こうら整形外科

② 日本肘関節学会

平成19年2月

「神経麻痺を伴った小児上腕骨顆上骨折の
検討」

福田祥二、加藤久佳

③ 第38回岡山リウマチ研究会

平成19年3月

「骨性強直膝に対するTKAの1例」

壺内 貢、門田弘明、加藤久佳、
福田祥二、多胡典郎、高城康師、
宮本久士

④ 第1回THA懇話会

「大腿骨転子部骨折偽関節後のHip
Arthroplasty」

壺内 貢、門田弘明

⑤ 第40回岡山骨折研究会

「大腿骨転子部骨折（Basicervical）に骨
頭下骨折を合併した1例」

壺内 貢、有森 勸、加藤久佳、
福田祥二、多胡典郎、高城康師、
宮本久士、野田知之*

*岡山大学整形外科

⑥ 中部日本整形外科学会

平成19年4月

「小児Floating elbowの治療経験」

福田祥二、門田弘明、加藤久佳、
壺内 貢、高城康師

⑦ 中部日本整形外科学会

平成19年4月

「橈骨遠位端骨折におけるVolar
Locking Plateの治療成績」

門田弘明、加藤久佳、壺内 貢、
福田祥二、高城康師

⑧ 日本手の外科学会

平成19年4月

「橈骨遠位端骨折に合併する尺骨遠位端骨
折に対するMini condylar plateを用い
た整復固定法」

福田祥二、加藤久佳、宮本久士

⑨ 岡山県病院薬剤師会研修会

平成19年6月

「骨粗鬆患者に対する骨折治療について」
高城康師

⑩ 骨折治療研究会

平成19年10月

「骨性マレット指に対するhook plateを
用いた固定法」

福田祥二、門田弘明、加藤久佳、
壺内 貢、多胡典郎、高城康師

⑪ 第15回岡山関節研究会

平成19年10月

「Versys HA/TC P taper stemの
X線学的検討」

壺内 貢、有森 勸、福田祥二、
多胡典郎、高城康師、宮本久士

- ⑫ 福田祥二、門田弘明、加藤久佳、壺内 貢、高城康師「小児 Floating elbow の治療経験 1 側上肢に上腕骨顆上骨折と前腕骨骨折を合併した 4 例」中部日本整形外科災害外科学会雑誌 50 巻 5 号 933-934 2007 年
- ⑬ 門田弘明、加藤久佳、壺内 貢、福田祥二、高城康師「橈骨遠位端骨折における Volar Locking Plate の治療成績 有用性と合併症」中部日本整形外科災害外科学会雑誌 50 巻 5 号 961-962 2007 年
- ⑭ 加藤久佳、門田弘明、壺内 貢、福田祥二、多胡典郎、高城康師、宮本久士「高度な骨粗鬆を伴った上腕骨遠位端 Coronal shear fracture の 1 例」津山中央病院医学雑誌 21 巻 1 号 117-120 2007 年

<検 査 科>

- ① 第 37 回岡山県医学検査学会
平成 19 年 3 月
「酵素法による総カルシウム測定の基礎的検討」
小坂美紀、梅田明和、立石智士、村上 香、平田尚子、山田啓輔
- ② 第 37 回岡山県医学検査学会 シンポジウム
平成 19 年 3 月
「時間外救急検査における異常値及びパニック値報告について」
立石智士
- ③ 平成 18 年度精度管理講習会
平成 19 年 3 月
「中規模病院から見た血液検査における課題」

立石智士

- ④ 第 40 回中国四国医学検査学会
平成 19 年 10 月
「超音波検査より測定した頸動脈内膜中膜複合体厚と冠動脈狭窄との有意相関」
河本理恵、三好佳子、小山周子、北村多美子、井上伸一、平田尚子、山田啓輔
- ⑤ 第 40 回中国四国医学検査学会
平成 19 年 10 月
「当院における病理診断支援システムの導入」
濱田和久、小林尚子、梅田明和、平田尚子、山田啓輔、高田理恵*
*独立行政法人国立病院機構岩国医療センター

- ⑥ 津山感染症セミナー
平成 19 年 11 月
「当院における薬剤耐性菌の動向」
村瀬智子

<放 射 線 科>

- ① 第 66 回日本医学放射線学会学術集会 横浜市
平成 19 年 4 月
「当院における食道癌に対する化学放射線治療の検討」
河原道子
- ② 第 21 回腹部放射線研究会 宮崎市
平成 19 年 6 月
「非常に緩徐な発育を呈し、精査にても診断に苦慮した胆嚢癌の 1 例」
黒川浩典

- ③ 第35回日本磁気共鳴医学会大会 神戸市
平成19年9月
「SPIO造影拡散強調画像によるHCC診断の有用性の検討；B値、呼吸停止の有無による比較」
黒川浩典
- ④ 第1回中国地区PET懇話会 岡山市
平成19年9月
「FDG-PETが確定診断の決め手になった1例」
藤島 護
- ⑤ 平成19年度第2回肺がん精密検診CT研修会 津山市
平成19年9月
「肺癌の画像診断」
藤島 護
- ⑥ 第109回日本医学放射線学会 中国四国地方会 岡山市
平成19年12月
「胆管癌との鑑別が困難であったIgG4関連硬化性胆管炎の一例」
黒川浩典
- ③ 「上肢挙上不可能な外傷患者におけるポジショニングの検討」
湯浅正憲
- ③ 第3回岡山マルチスライスCTミーティング
平成19年9月
「Dynamic CTにおける生食後押しによる最高濃度到達時間への影響」
光岡由企夫
- ④ 平成19年度第2回肺がん精密検診CTセミナー
平成19年9月
「CT装置の構成、機能、CT値、ウィンドウ機能」
渡邊孝幸
- ⑤ 第35回日本放射線技術学会秋季学術大会
平成19年10月
「Dynamic CTにおける生食後押しによる最高濃度到達時間への影響」
光岡由企夫
- ⑥ 岡山県放射線技師会派遣講師(津山東高校)
平成19年11月
「放射線による医療への応用について」
渡邊孝幸

<放射線技術部>

- ① 第61回コ・メディカル研修会（フレッシューズセミナー）
平成19年6月
「CT講座（CT画像の見方、読み方、考え方）」
渡邊孝幸
- ② 第23回放射線技師総合学術大会
平成19年6月
- ⑦ 中四国放射線医療技術フォーラム2007
平成19年11月
「当院における急性虫垂炎像と病理所見の比較検討」
三好一外
- ⑧ 中四国放射線医療技術フォーラム2007
平成19年11月
「CT検査におけるGd造影剤が及ぼす影

響について」

渡邊孝幸

<医療安全管理室>

- ⑨ 中四国放射線医療技術フォーラム 2007
平成 19 年 11 月
「当院における MDCT の検討～装置間における被曝線量の違い～」
北村光博

- ⑩ 中四国放射線医療技術フォーラム 2007
平成 19 年 11 月
「Dynamic CT における生食後押しによる最高濃度到達時間への影響」
光岡由企夫

- ⑪ 中四国放射線医療技術フォーラム 2007
平成 19 年 11 月
「マンモグラフィーの濃度測定における一考察」
見尾京子

- ⑫ 中四国放射線医療技術フォーラム 2007
平成 19 年 11 月
「ASSET 使用時の Calibration Scan (Cal) と Imaging Scan (Image) の位置ズレ (Size of Gap) による Artifact が画像に及ぼす影響」
藤田卓史

- ⑬ 中四国放射線医療技術フォーラム 2007
平成 19 年 11 月
「上肢挙上不可能な外傷患者におけるポジショニングの検討」
湯浅正憲

- ⑭ 渡邊孝幸「MDCT とワークステーションを用いた肝表面 3D-VR 画像」日本放射線技師会雑誌、2007 年 8 月

- ① 岡山県看護協会 平成 19 年度リスクマネジャー育成研修講演 岡山市
平成 19 年 6 月
「実践現場における組織的取り組み」
村上典子

- ② 岡山県看護協会 平成 19 年度助産師職能集会講演 岡山市
平成 19 年 7 月
「医療事故防止のための管理体制～危険予知訓練 (K Y T) ～」
村上典子

- ③ 平成 19 年度県連看護幹部研修会講演 倉敷市
平成 19 年 12 月
「リスクマネジメント」
村上典子

- ④ 岡山県立落合高等学校衛生看護専攻科 真庭市
平成 19 年 1 月
「臨床の看護場面におけるコンピュータ活用の実際」
村上典子

- ⑤ 岡山県立落合高等学校衛生看護専攻科 真庭市
平成 19 年 8 月
「臨床の看護場面におけるリスクマネジメントの実際について」
村上典子

- ⑥ 岡山県立津山東高等学校衛生看護専攻科 津山市

平成19年11月
「臨床の看護場面におけるリスクマネジメント」
村上典子

<薬 剤 部>

- ① 第80回日本薬理学会年会
平成19年3月
「Effect of lafutidine on neurogenic vasodilator responses in rat mesenteric resistance arteries」
杉山哲大
- ② 第12回日本緩和医療学会総会
平成19年6月
「癌末期患者におけるPCAポンプの有用性」
西崎文祥、近藤祥代、藤本 剛、
野中泰幸、徳田直彦
- ③ 第9回日本医療マネジメント学会学術総会
平成19年7月
「内服投与に関するアクシデントの検討－RCA（根本原因分析法）を用いて－」
杉山浩江、采女佐加江、西崎文祥、
矢田佐知香、村上典子、河原義文
- ④ 第46回日本薬学会・日本薬剤師会・日本病院薬剤師会・中国四国支部学術大会
平成19年11月
「災害医療チーム（DMAT）における薬剤師の役割について」
増田展利、岡田和久、杉山哲大、
近藤祥代
- ⑤ 第9回NSTフォーラムin岡山
平成19年12月

「超高齢者における経皮内視鏡的胃瘻造設術（PEG）のアウトカム」
江草太郎、坂出孝子、平良明彦

<看 護 部>

- ① 第12回日本緩和医療学会総会 岡山コンベンションセンター
平成19年6月
「その人らしく死を迎える為のスタッフの関わり－短期間のケアを通して－」
光吉啓子、前原多美恵、甲本葉子
- ② 中国腎不全研究会 広島国際会議場
平成19年9月
「当院におけるNegative SelectionによるCAPD導入症例」
矢吹篤子、明石直子、吉村昌三、
福島達夫
- ③ 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 東京
平成19年11月
「非侵襲的陽圧呼吸管理（NPPV）時のマスクによる鼻骨部皮膚損傷の予防対策の検討－鼻骨部損傷0を目指して－」
藤澤里恵、勝田知也、甲本葉子、
松尾明美
- ④ 県北終末期医療研究会 落合病院
平成19年11月
「化学療法、放射線治療を受けている食道癌患者の食への思いを受け止めて－他職種との連携で本人の希望する食事を提供しQOLが向上した1例－」
高倉聖子、前原多美恵、小椋葉子
- ⑤ 岡山県母性衛生学会 岡山大学

平成19年12月

「母乳外来の立ち上げから1年の経過報告」

小山末子、山本加奈子、藤本悦子、

西 美之、新免陽子、榎本伊津子、

楠本知行、河原義文

<看護学校・教務部>

① 第19回日本看護学校協議会学会

平成19年8月

「学内でモデル人形を用いた沐浴演習における学生の学び」

土井満美子

編集後記

30年ぐらい前までは医学部を卒業し国家試験に合格すると、その後はまず医学博士を目指して研究をしていくことが多かったように思います。そのために大学院生としてあるいは研究生として研鑽し、その時期に学術的な論文の書き方を学んだものです。やがてそれが意味のある、また今で言うエビデンスに耐えうる論文として評価されることになるように思いました。今でもまだその研鑽の方向はありますが、現在ではむしろ20年位前より始まった各学会の専門医や指導医といった制度が、医学博士より別の意味での重要性を持ってくるようになったので、その取得に必要な学術雑誌等への投稿、業績が論文の中心になってきているようです。その場合どうしても症例報告的な論文が多くなり、以前のような十分吟味された研究的な論文が少なくなってきました。我々の診療はやはり十分なエビデンスに基づいて行われているわけですから、それに応えるべき意味のある論文を当誌に載せ、今後もエビデンスに貢献できるようがんばっていきたいと思います。さらに最近、がん治療認定医などの各科横断的な専門医制度も出来てきています。当誌も出来れば横断的な専門医制度の業績の一つに数えられるようになれるよう、掲載論文の充実を目指していきたいと思います。

(宮本 亨記)

顧問：黒瀬通弘

編集責任者：宮本 亨

専任編集委員：林 同輔, 藤島 護, 梶 俊策, 今川 敦

編集委員：松永ちづ子, 増田展利, 高谷正彦, 井野智明,
飯島恭子

表紙題字：浮田寿夫

津山中央病院医学雑誌 第22巻, 第1号

平成20年 9月10日印刷

平成20年 9月15日発行

編集者	宮 本 亨
発行者	徳 田 直 彦
発行所	財団法人津山慈風会 津山中央病院 岡山県津山市川崎1756 〒708-0841 TEL0868-21-8111 FAX 0868-21-8205
印刷所	津山朝日新聞社 津山市田町13 TEL0868-22-3135(代)